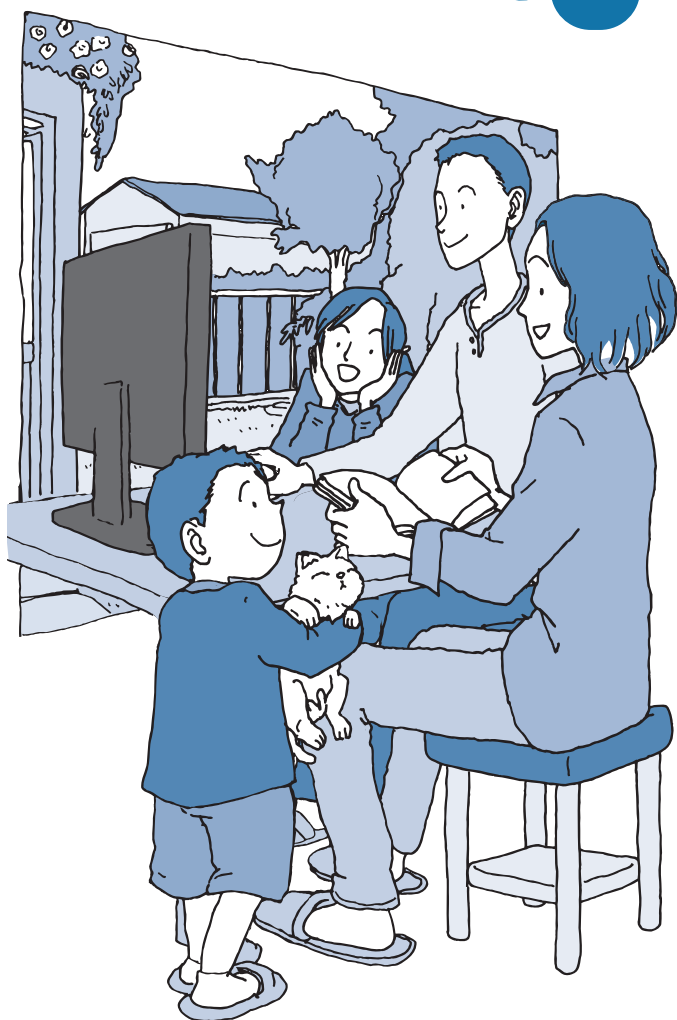
NEC

準備と基本

「あなたのパソコン」として使うために

VALUESTAR L

準備編
- セットアップの前に
- セットアップする
- インターネットを始める

基本編
- 基本機能
- パソコンに取り付ける
- おすすめ機能

- 付録
- 仕様一覧

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

この本

パソコンを使う準備をしよう

『準備と基本』

パソコンの接続やセットアップ／ウイルス対策／インターネットに接続する方法／基本機能／パソコンのおすすめ機能　など

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（デジタルハイビジョンTVモデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／ DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作　など

デスクトップにある をダブルクリック

パソコンの中にもマニュアルがある

「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集　など

パソコンを安心して使うために

『トラブルの予防と解決』

バックアップの種類と方法／インターネットのトラブル解決／パソコンの電源が入らないときは／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法／ NECのサービス＆サポート　など

※第5章に、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）や各種サービス＆サポート情報を記載しています。

853-811064-038-A

このマニュアルの読み方

準備編

―― パソコンを使い始める際に必要な設定について説明しています。

章	内容
【第1章】 セットアップの前に	添付品の確認や電源コードの接続など、まず最初におこなうことについて説明しています。
【第2章】 セットアップする	パソコンの電源を入れて最初におこなう設定(セットアップ)やセットアップ後におこなう作業について説明しています。
【第3章】 インターネットを始める	インターネットの接続や、電子メールの設定、ウイルス対策について説明しています。

基本編

―― このパソコンの主な機能の紹介と機能の拡張、特有の機能について説明しています。

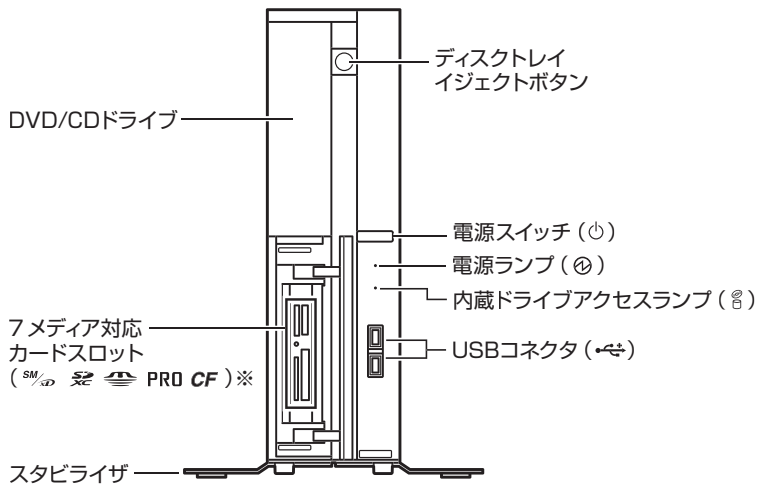
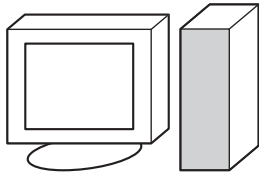
章	内容
【第4章】 基本機能	電源の入れ方や切り方、省電力機能や音量の調節方法など、このパソコンの主な機能について説明しています。
【第5章】 パソコンに取り付ける	パソコンに取り付けられる機器の紹介や内部に新しい部品を取り付ける方法について説明しています。
【第6章】 おすすめ機能	このパソコン特有の機能を使ってできることを紹介しています。

付録 ―― お手入れの方法やアフターケアなど、さまざまな情報を記載しています。

仕様一覧 ―― パソコンの性能や機能について詳しい情報を記載しています。

853-811064-038-A
2010年9月　初版

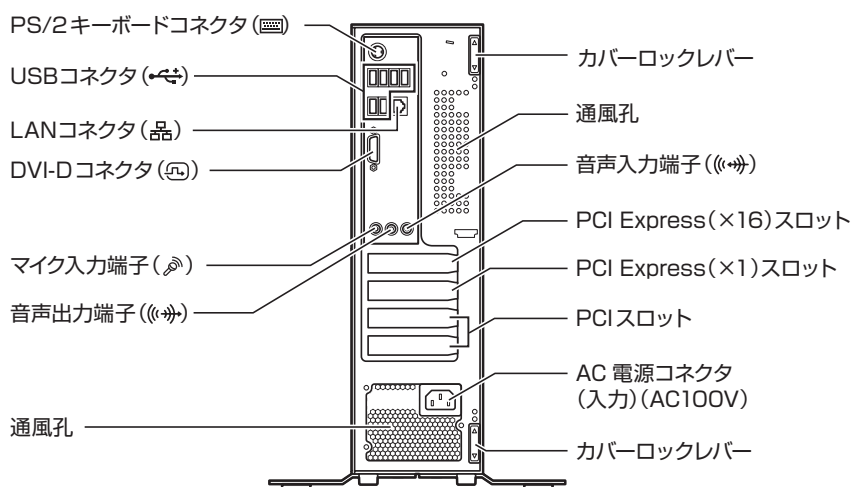
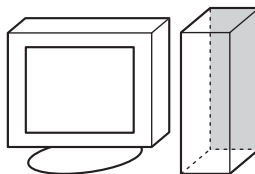
各部の名称(1)

●本体前面

（カバーを開いたところ）

※7メディア対応カードスロットモデルのみ

詳しくは、「各部の名称と役割」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索）をご覧ください。

各部の名称(2)

●本体背面

イラストはモデルによって異なります。

PCI Express(×16)スロット

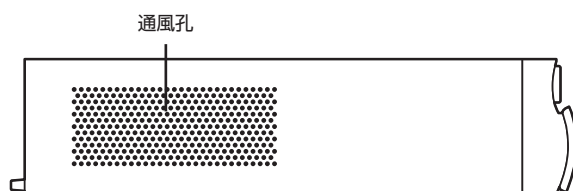
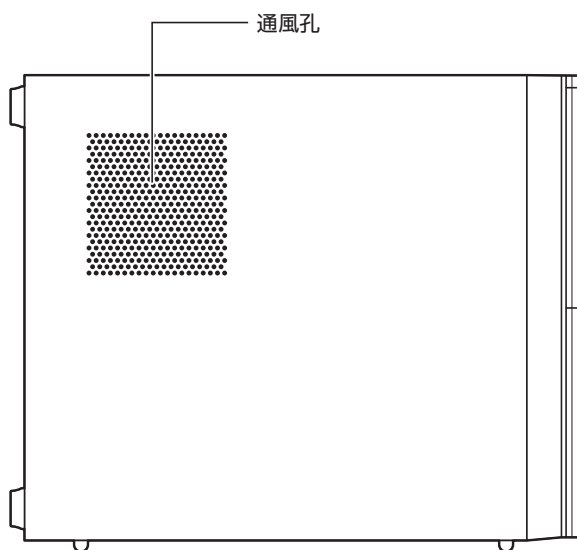
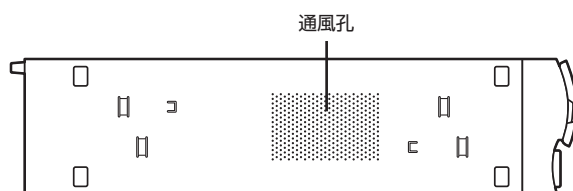
・GeForce GT 330を搭載しているモデルの場合

PCI Express(×1)スロット

・USB 3.0対応コネクタボードを搭載しているモデルの場合

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

各部の名称(3)

● 本体上面

● 本体左側面

● 本体底面

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。

注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。

関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーおよびリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

次ページの表をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
7メディア対応カードスロットモデル	7メディア対応カードスロットを搭載しているモデルのことです。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 7 Professionalモデル	Windows 7 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。

Office Home & Business 2010モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
3D対応モデル	3D映像や3D画像の再生に対応しているモデルのことです。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分				
		ディスプレイ	BD/DVD/CDドライブ※1	メモリーカードスロット	OS	添付ソフト
VALUESTAR L	VL750/CS(PC-VL750CS)※2	液晶ディスプレイセットモデル(23型ワイド液晶[F23W2A])	ブルーレイディスクドライブモデル	7メディア対応カードスロットモデル	Windows 7 Home Premiumモデル	Office Home & Business 2010モデル
	VL350/CS(PC-VL350CS)	液晶ディスプレイセットモデル(23型ワイド液晶[F23W1A(W)])	DVDスーパーマルチドライブモデル			
	VL150/CS(PC-VL150CS)	液晶ディスプレイセットモデル(19型ワイド液晶[F19W1A(S)])		−		Office Personal 2010モデル

※1：BDとはブルーレイディスクのことです。
※2：VL750/CSは3D対応映像や3D画像に対応しています。また、USB 3.0対応コネクタボード、GeForce GT 330が搭載されています。

◆VALUESTAR Gシリーズについて

VALUESTAR Gシリーズの各モデルについては、添付の『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆周辺機器について

・接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆イラストについて

このマニュアルでは、各モデルで操作方法に大きな違いがない場合は、GeForce GT 330が搭載されていないモデルのイラストを掲載しています。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook、Outlook 2010	Microsoft® Office Outlook® 2010
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows Media Center	Windows® Media Center
タスクバー	Windows® タスクバー
Windows Update	Windows® Update
Windows 転送ツール	Windows® 転送ツール
ファイナルパソコンデータ引越し	ファイナルパソコンデータ引越し 7 ™ ライト for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター ™ 2010
Corel WinDVD	Corel® WinDVD®
Corel WinDVD AVC	Corel® WinDVD® AVC
Corel WinDVD BD	Corel® WinDVD® BD

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは、米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。
インテル、Intel、Intel Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
“Blu-ray Disc”は、商標です。
HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
DLNAおよびDLNA CERTIFIEDは、デジタルリビングネットワークアライアンス（Digital Living Network Alliance）の商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
PS/2はIBM社が所有している商標です。
Corel、Corelのロゴ、WinDVDはCorel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
SDおよびminiSDロゴ、およびロゴは商標です。
miniSD™およびmicroSD™はSDアソシエーションの商標です。
“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK、、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
xD-Picture Card、「xD-ピクチャーカード™」は富士フイルム株式会社の商標です。
SmartMedia（スマートメディア）は、株式会社 東芝の登録商標です。
CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporation社の登録商標です。
Microdriveは、IBMの商標です。IBMは、IBM Corporation社の登録商標です。
NVIDIA、NVIDIAロゴ、NVIDIA nForce、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
BIGLOBEはNECビッグローブ株式会社の登録商標です。
「Yahoo!」は、Yahoo!Inc.の登録商標です。
ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
ファイナルパソコン引越しおよびファイナルパソコンデータ引越しはAOSテクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

基本編

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

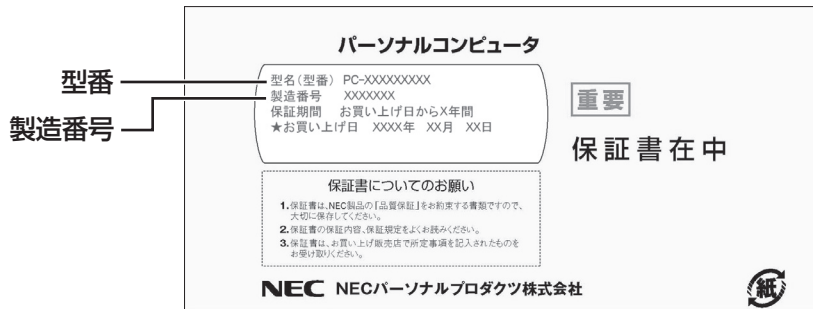
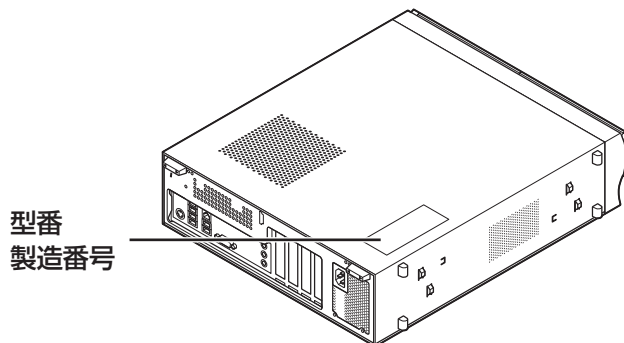
準備編

第1章 セットアップの前に

この章では、添付品の確認や電源コードの接続など、パソコンの箱を開けて電源を入れる前におこなうことについて説明します。

製品を確認する

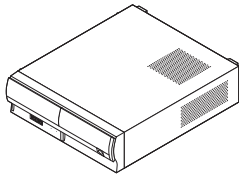
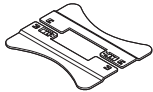
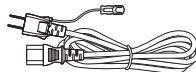
保証書と本体のラベルの記載内容が一致していることを確認してください。

●保証書

●パソコン左側面

重要

- ラベルに記載された番号が保証書と異なっている場合、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.4)にお問い合わせください。
- 保証書は、所定事項(販売店名、お買い上げ日など)が記入されていることを確認し、保管してください。
- 保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

添付品を確認する

・次のチェックリストを見ながら、添付品がそろっているかを確認してください。
・VALUESTAR Gシリーズをご購入の場合は、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、添付品を確認してください。

●全モデル共通

□ パソコン本体　□ キーボード　□ マウス
□ スタビライザ　□ アース付き電源コード

●マニュアルなど

□ ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)／ソフトウェア使用条件適用一覧
※1枚になっています。
箱の中身を確認後必ずお読みください。
□ 安全にお使いいただくために
※箱の中身を確認後必ずお読みください。
□ PC修理チェックシート
□ 準備と基本(このマニュアル)
□ トラブルの予防と解決

●「Microsoft® Office Home and Business 2010」の添付品(PC-VL750CS、PC-VL350CSのみ)

□「Microsoft® Office Home and Business 2010」のパッケージ

●「Microsoft® Office Personal 2010」の添付品(PC-VL150CSのみ)

□「Microsoft® Office Personal 2010」のパッケージ

●PC-VL750CSのみ

□3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ
□3Dメガネ(アクティブシャッター方式)※
□赤外線(IR)エミッタ
□保管用ポーチ
□クリーニング布
□USBケーブル(1.8mと3mの2本)
□調整可能なノーズピース(2種類)

※ 添付されている3Dメガネは、NECパーソナルプロダクツ(株)が指定するパソコンとの組み合わせで使用する3D専用メガネです。

●PC-VL750CS、PC-VL350CSのみ

□デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ

■添付品が足りないときは

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

●NECサポート窓口(121(ワントゥワン)コンタクトセンター)

フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
03-6670-6000(通話料お客様負担)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は、『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。

■「電子マニュアルビューア」について

このパソコンのマニュアルは、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「電子マニュアルビューア」でご覧いただくこともできます。また、「電子マニュアルビューア」では、ご購入時以降のさまざまな情報に対応した、最新のマニュアルをご覧いただける場合もあります。

「電子マニュアルビューア」はインターネットに接続後、次のURLからご利用いただけます。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

パソコンの置き場所を決める

ここでは、パソコンを設置する場所について説明します。

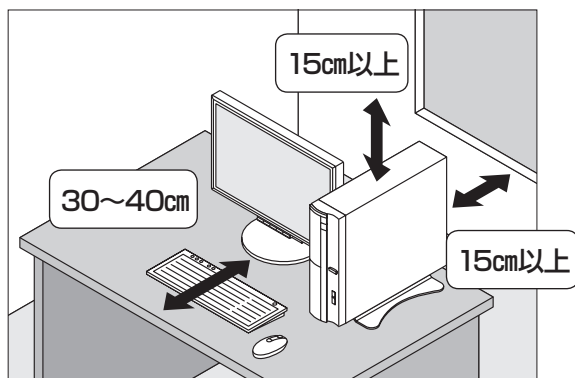
■パソコンを設置する場所

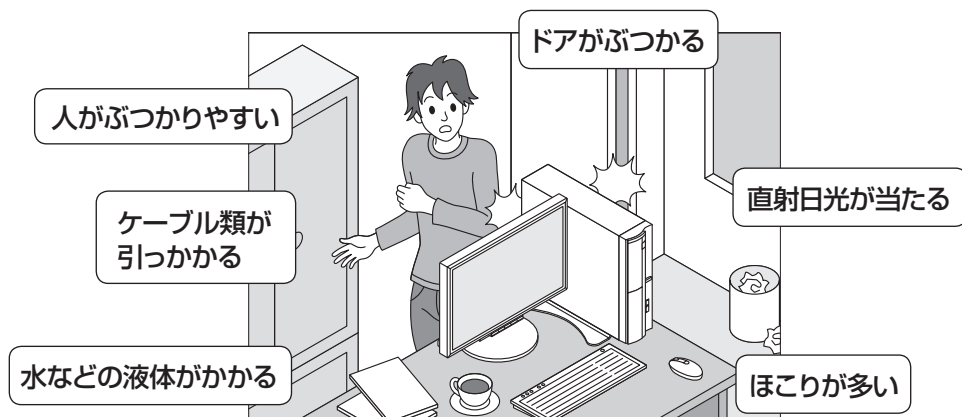
パソコンは次のような場所に置いてください。

- **屋内**
- **しっかりした台の上**
  パソコンの重さを支えられる机やテーブルの上に設置してください。
- **温度は10 ～ 35℃、湿度は20 ～ 80%**
- **ほこりの少ない場所**
- **コンセントや電話回線の近く**
  本体や周辺機器に接続した電源コード、LANケーブルなどが届く範囲に設置してください。

パソコンの周囲のスペースについて

快適に操作するため、また、機器の故障を防ぐため、パソコンの周囲にはスペースを確保してください。

- **本体前に30 ～ 40cm**
  キーボードを置いて、マウスを操作できるスペースが必要です。
- **本体上面、左側面および後ろ側に15cm以上**
  本体上面、左側面および後ろ側の通風孔から放熱しています。壁などから15cm以上離して設置してください。
- **ディスプレイの後ろ側に15cm以上**
  ディスプレイの後ろ側の通風孔から放熱しています。壁などから15cm以上離して設置してください。
- **通風孔について**
  パソコン本体やディスプレイの通風孔を紙などでふさがないようにしてください。通風孔をふさいだまま使用すると、内部の温度が上昇して故障などの原因になります。

■パソコンを設置してはいけない場所

故障などの原因になるため、次のような場所には置かないでください。

パソコンの近くに置いてはいけないものについて

次のものはパソコンの近くに置かないでください。

●磁気や電波を発生するもの

パソコンの近くに磁気や電波を発生するもの(テレビ、ラジオ、スピーカ、コードレス電話、携帯電話など)を置くと、パソコンのディスプレイの映像が乱れたり、スピーカから雑音が出ることがあります。また、これらの機器とパソコンは相互に影響を与えるため、逆にテレビの映像が乱れたり、ラジオやコードレス電話から雑音が出ることもあります。

扇風機や温風式こたつなども磁気を発生するため、パソコンの近くには置かないでください。

●熱を発生するもの

パソコンの近くに暖房機などを置くと、熱によってパソコンが変形したり異常な動作をすることがあります。

■その他、設置に関するご注意

●コンセントについて

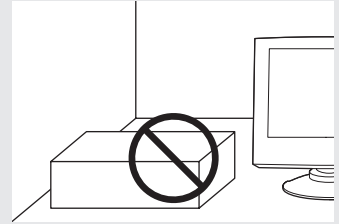
・テレビやラジオのコンセントとは、別のコンセントに接続してください。同じコンセントに接続するとテレビやラジオから雑音が出ることがあります。
・電源コードはできるだけ直接コンセントに接続してください。コンセントが足りず、パソコン用のテーブルタップを使うときは、テーブルタップの許容電力を守ってください。
・アース線を接続できるよう、アース端子の付いたコンセントに接続してください。アース端子についてはお近くの電器店などにご相談ください。

●ケーブルについて

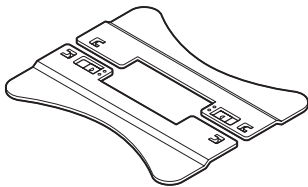
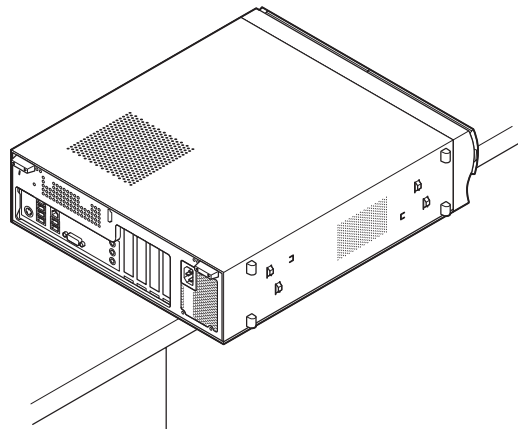
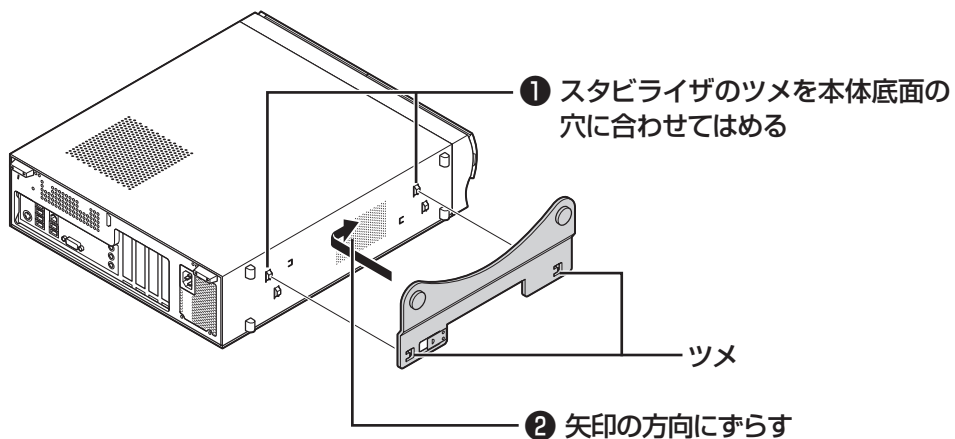
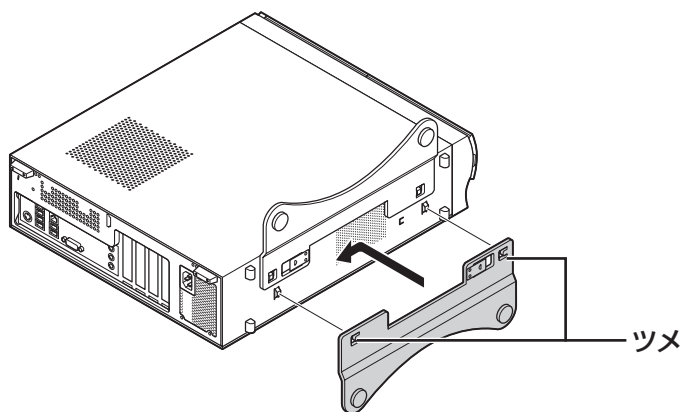
ケーブルを引っかけて機器を落とさないようにしてください。小さなお子様がいるご家庭では特にご注意ください。

スタビライザ(台座)を取り付ける

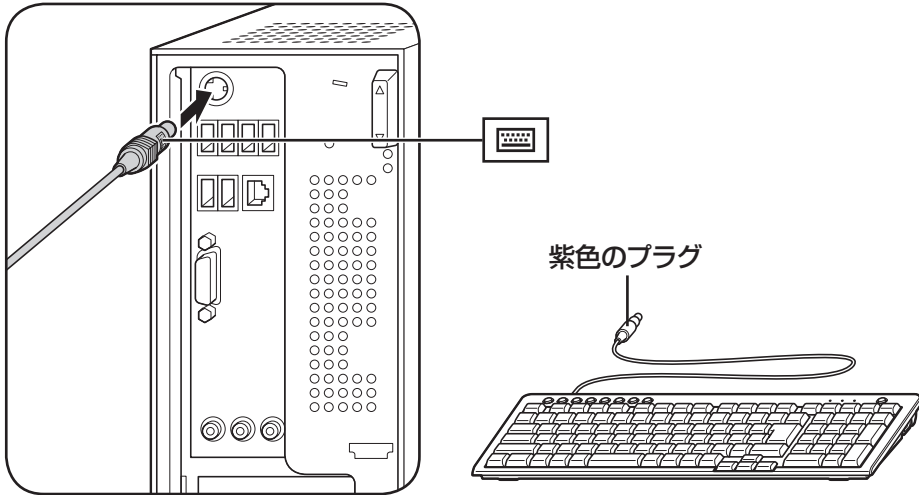
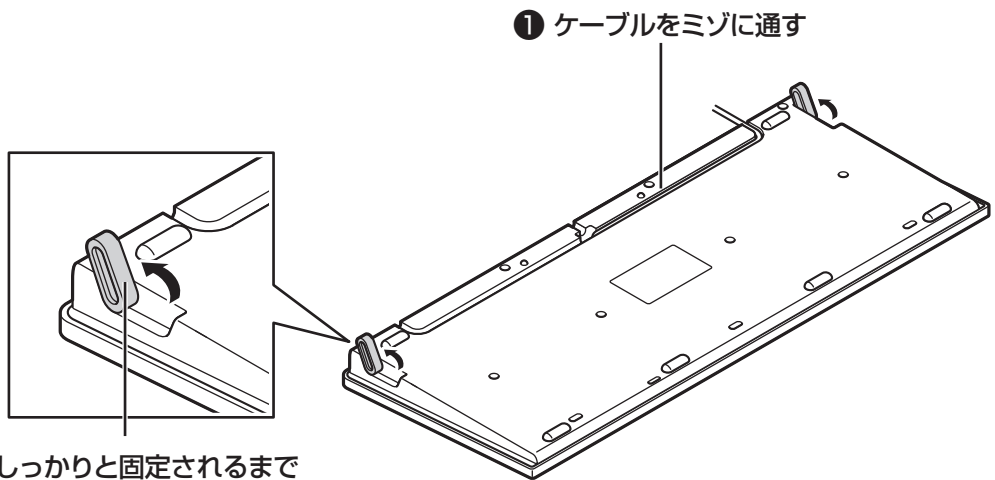
スタビライザは、パソコン本体を安定させる部品です。

このパソコンは横置きで使用することはできません。必ず縦置きでご使用ください。
本体の転倒防止のため、スタビライザの取り付けをおすすめします。

1 平らな机やテーブルの上に、本体を横にして置く

参考

本体を横に倒すときは、机やテーブルを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷きます。

スタビライザ

2 スタビライザのツメを穴にはめてずらす

3 もう片方のツメも同じようにしてはめ込む

キーボードを接続する

1 キーボードのプラグをパソコン背面のコネクタに差し込む

プラグの ⌨ マークを確認し、プラグの向きを次のイラストに合わせて差し込んでください。

2 キーボード裏面の足を立てる

キーボードは足を立てずに使うこともできます。また、ケーブルは左右どちらのミゾに通してもかまいません。

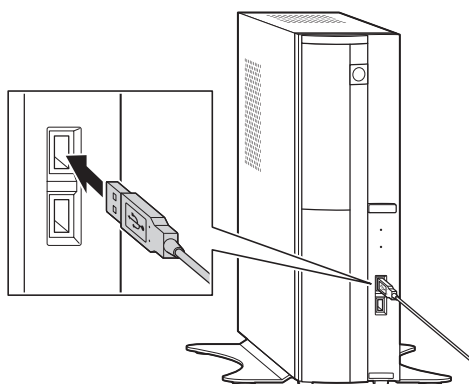
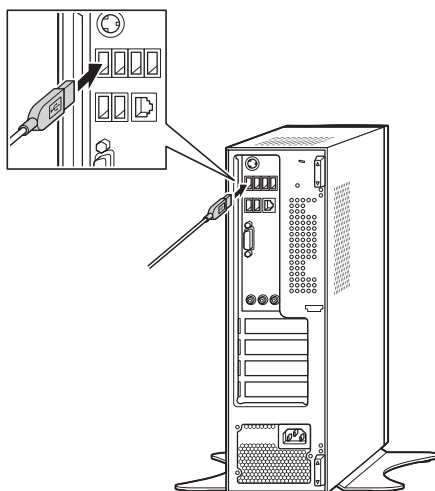
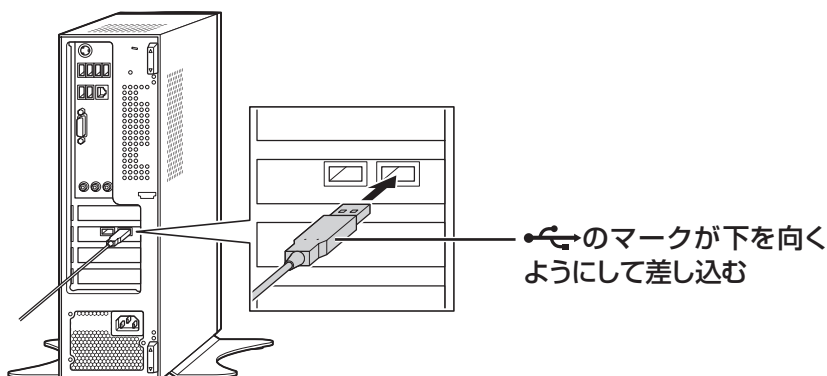
マウスを接続する

重要

- 市販のUSBハブは使用せず、パソコンに直接接続してください。
- マウスをUSB 3.0対応コネクタ(SS)に接続した場合は、再セットアップやWindows修復機能の利用中にマウスを使用できません。

1 マウスのプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

プラグの を確認し、プラグの向きを次のイラストに合わせて差し込んでください。

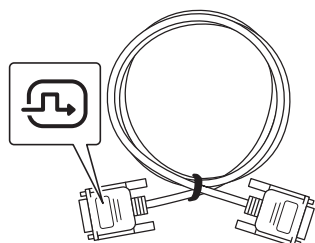
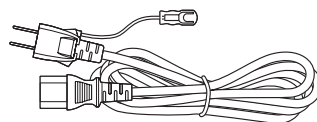
●本体前面

● 本体背面

●USB 3.0対応コネクタ(搭載モデルのみ)

ディスプレイを接続する

ここでは、ディスプレイの接続について説明します。
このマニュアルでは、液晶ディスプレイセットモデルの23型ワイド液晶ディスプレイ:F23W2AおよびF23W1A(W)、19型ワイド液晶ディスプレイ:F19W1A(S)と接続する例で説明しています。

参考

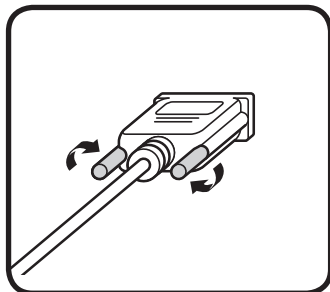
VALUESTAR Gシリーズをご購入のお客様は、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』もあわせてご覧ください。

■接続用のケーブルを確認する

ディスプレイに添付されている次のケーブルをご用意ください。

参考

- イラストは、実際の製品とは形状が一部異なります。
- F23W2Aに添付されているビデオ信号ケーブルは、デュアルリンクに対応しています。3D対応モデルで3Dコンテンツを視聴する場合は、デュアルリンクに対応したケーブルが必要です。

■接続に関するご注意

・ケーブルをパソコンやディスプレイに接続するときは、プラグの向きを確認し最後までしっかりと差し込んでください。
・プラグのネジをしめるときは、左右のネジを交互に少しずつまわして固定してください。片方だけ連続でまわすと、プラグが斜めに固定されてしまうことがあります。

■ケーブルを接続する(F23W2Aの場合)

ここではF23W2Aを接続する手順を説明します。

●F23W1A(W)を接続する場合

「ケーブルを接続する(F23W1A(W)の場合)」(p.16)をご覧ください。

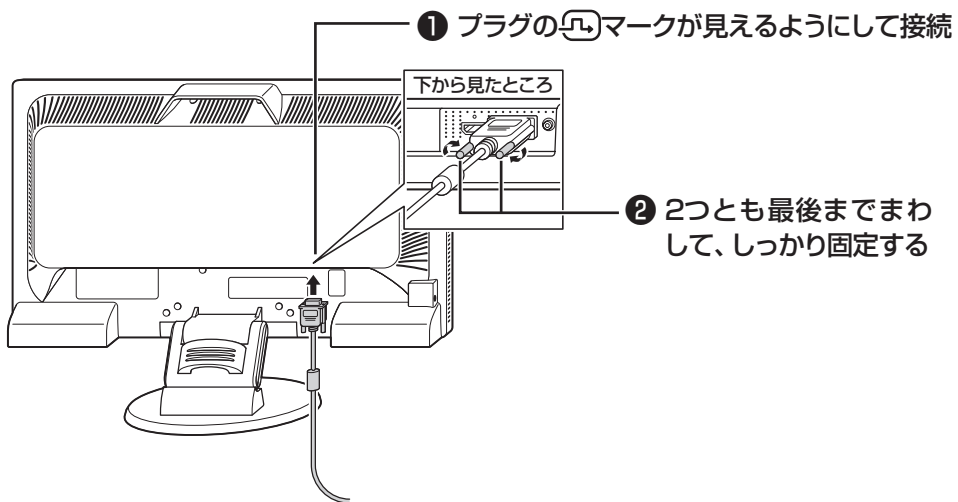
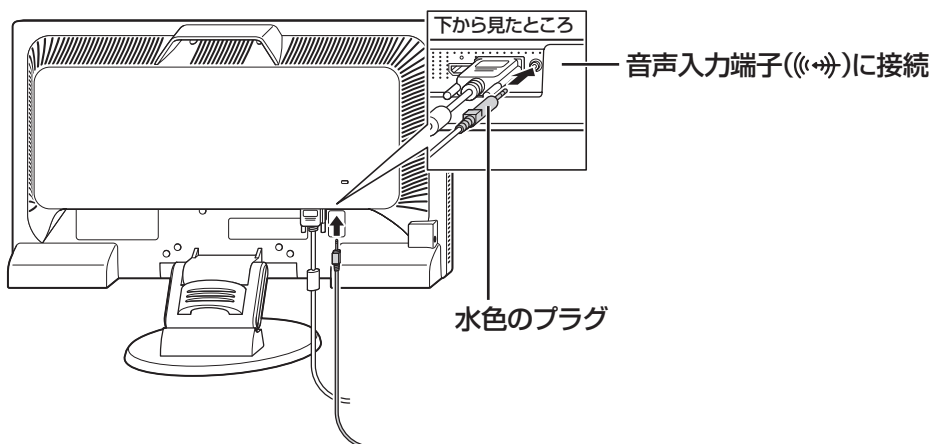
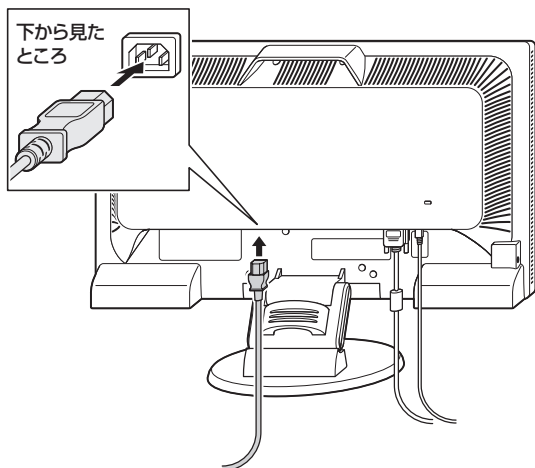
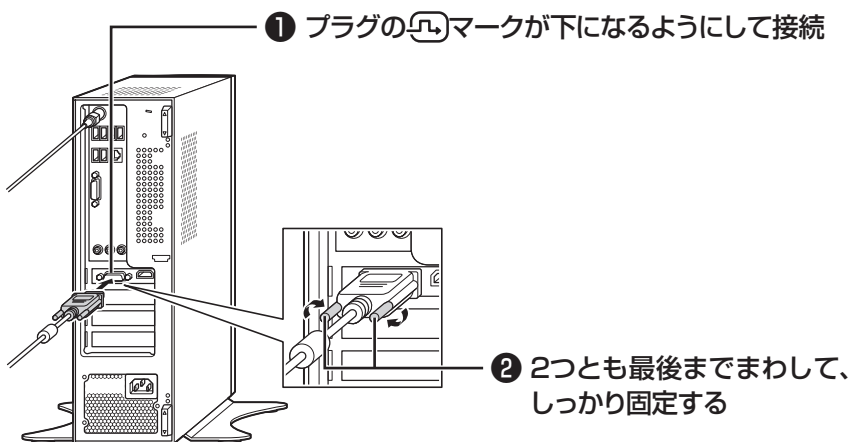
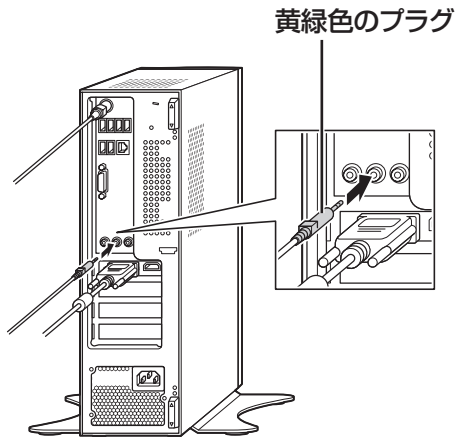
●F19W1A(S)を接続する場合

「ケーブルを接続する(F19W1A(S)の場合)」(p.19)をご覧ください。

1 ビデオ信号ケーブルをディスプレイのコネクタに差し込み(❶)、ネジをまわして固定する(❷)

2 オーディオケーブルをディスプレイのコネクタに差し込む

3　電源コードをディスプレイに差し込む

重要

まだコンセントには接続しないでください。

4　ビデオ信号ケーブルをパソコン背面のコネクタに差し込み（❶）、ネジをまわして固定する（❷）

5 オーディオケーブルをパソコン背面の音声出力端子に差し込む

これでケーブルの接続は完了です。
「電源コードを接続する」(p.22)に進んでください。

■ケーブルを接続する(F23W1A(W)の場合)

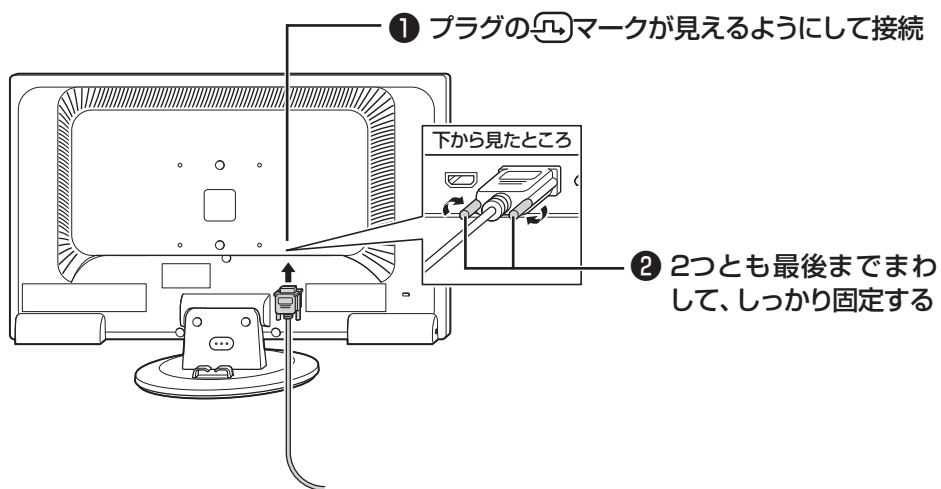
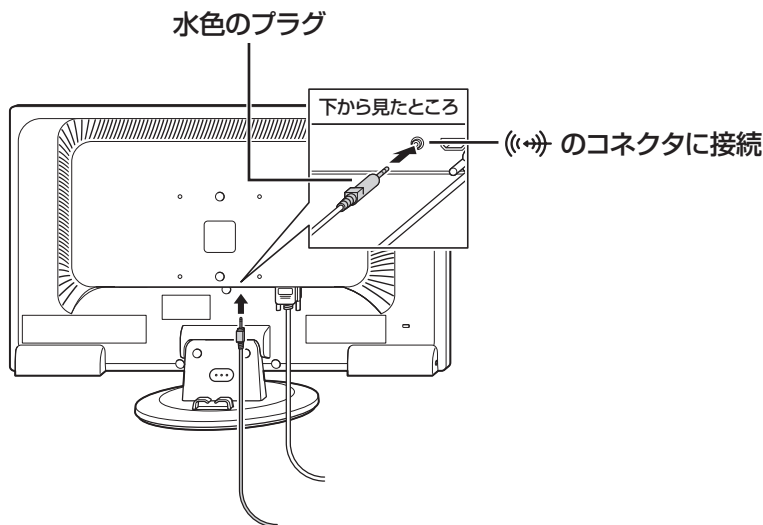
ここではF23W1A(W)を接続する手順を説明します。

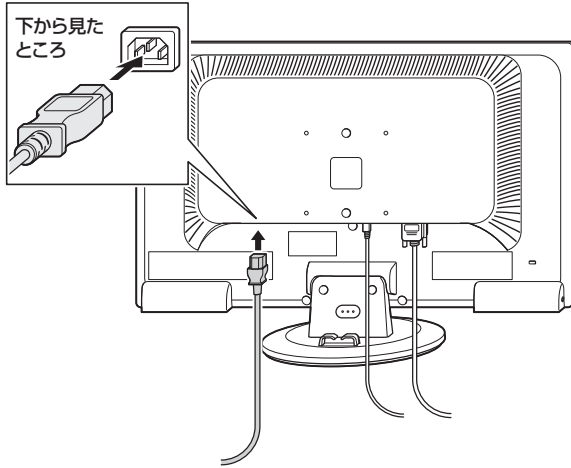
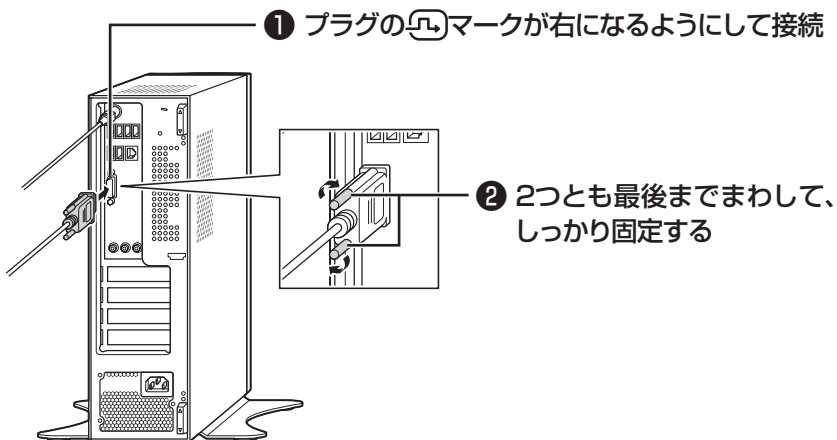
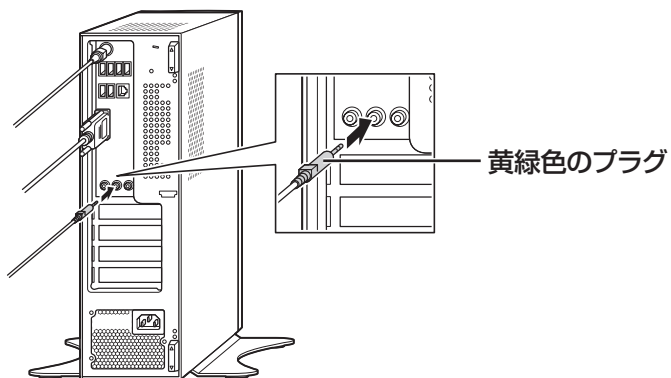
●F23W2Aを接続する場合

「ケーブルを接続する(F23W2Aの場合)」(p.13)をご覧ください。

●F19W1A(S)を接続する場合

「ケーブルを接続する(F19W1A(S)の場合)」(p.19)をご覧ください。

1 ビデオ信号ケーブルをディスプレイのコネクタに差し込み(❶)、ネジをまわして固定する(❷)

2 オーディオケーブルをディスプレイのコネクタに差し込む

3 電源コードをディスプレイに差し込む

まだコンセントには接続しないでください。

4 ビデオ信号ケーブルをパソコン背面のコネクタに差し込み（❶）、ネジをまわして固定する（❷）

5 オーディオケーブルをパソコン背面の音声出力端子に差し込む

これでケーブルの接続は完了です。
「電源コードを接続する」(p.22)に進んでください。

■ケーブルを接続する(F19W1A(S)の場合)

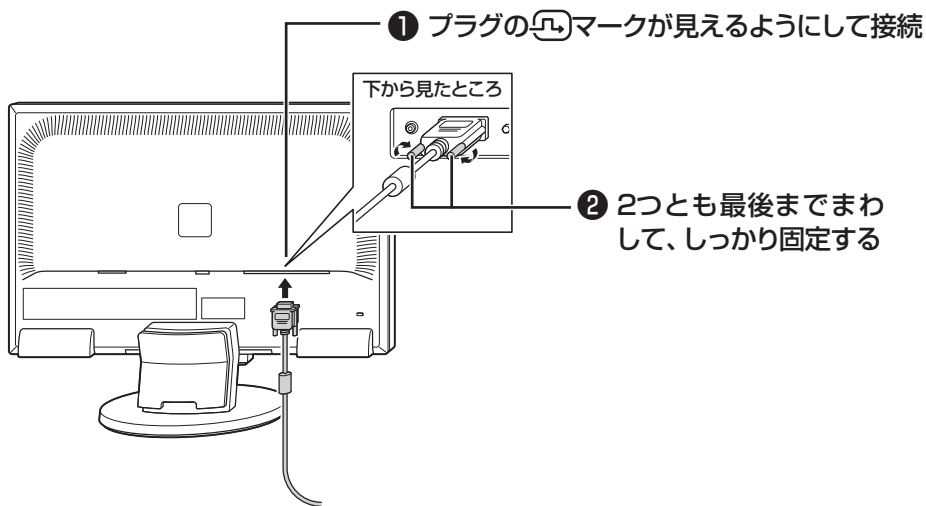
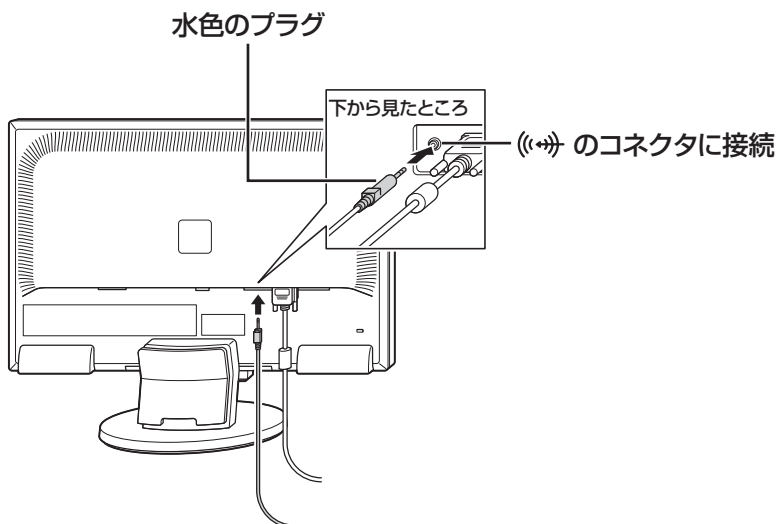
ここではF19W1A(S)を接続する手順を説明します。

●F23W2Aを接続する場合

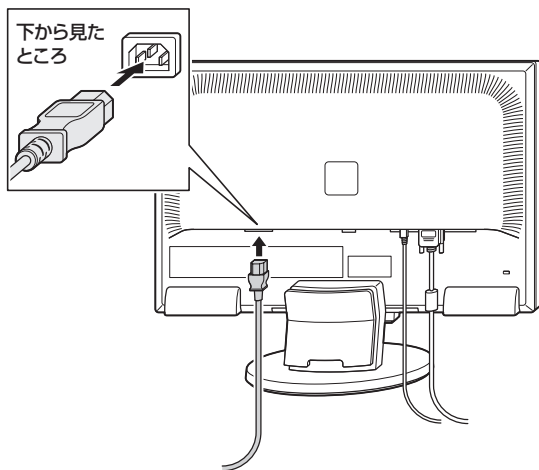
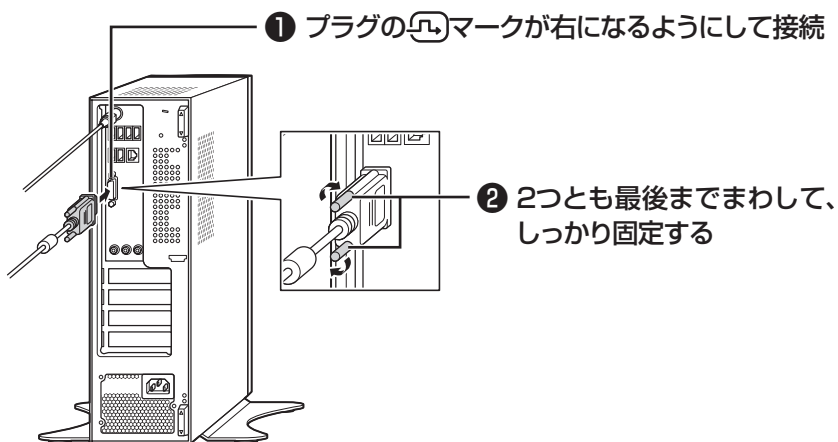
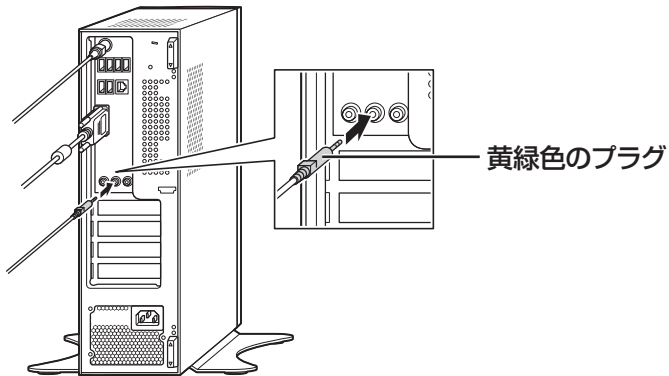
「ケーブルを接続する(F23W2Aの場合)」(p.13)をご覧ください。

●F23W1A(W)を接続する場合

「ケーブルを接続する(F23W1A(W)の場合)」(p.16)をご覧ください。

1 ビデオ信号ケーブルをディスプレイのコネクタに差し込み(❶)、ネジをまわして固定する(❷)

2 オーディオケーブルをディスプレイのコネクタに差し込む

3 電源コードをディスプレイに差し込む

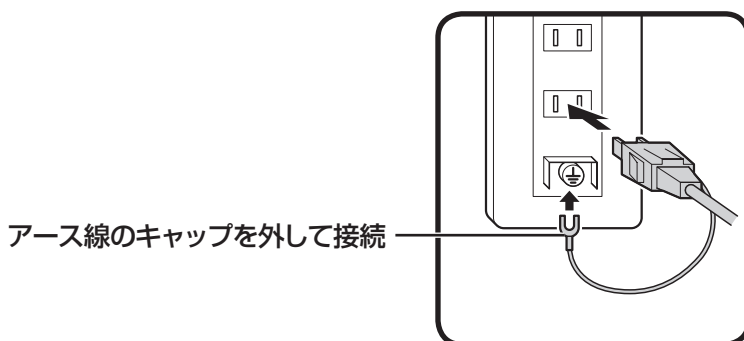
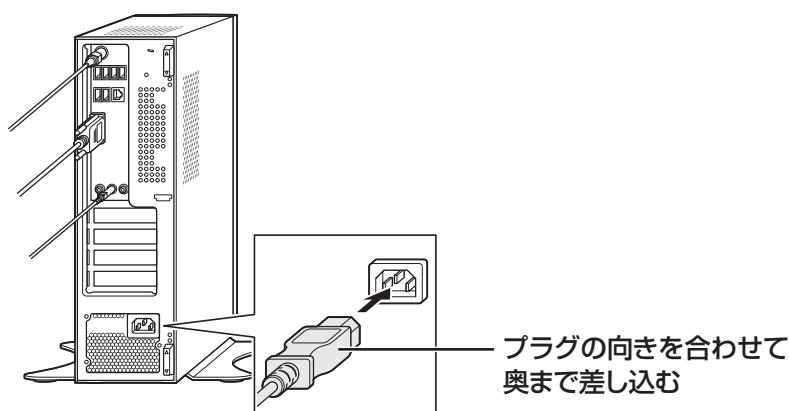
まだコンセントには接続しないでください。

4 ビデオ信号ケーブルをパソコン背面のコネクタに差し込み（❶）、ネジをまわして固定する（❷）

5 オーディオケーブルをパソコン背面の音声出力端子に差し込む

これでケーブルの接続は完了です。
「電源コードを接続する」(次ページ)に進んでください。

電源コードを接続する

ここでは電源コードの接続について説明します。

アース端子付きのコンセントが利用できないときは、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

1 ディスプレイの電源コードのプラグをコンセントに差し込む

アース線をアース端子に接続してから、プラグを差し込んでください。

2 電源コードをパソコン背面の電源コネクタに差し込む

3 パソコンの電源コードのプラグをコンセントに差し込む

アース線をアース端子に接続してから、プラグを差し込んでください。

●電源コードを外す際は

電源コードを外す際、アース線を接続している場合は、必ず電源コードのプラグを外してからアース線を外してください。

参考

インターネットへの接続や周辺機器などの接続は、セットアップ作業が終わった後におこなってください。

これで接続は完了です。

第2章「セットアップする」(p.25)に進んでください。

準備編

第2章 セットアップする

この章では、パソコンの電源を入れて最初におこなう設定（セットアップ）やセットアップ後におこなう作業、パソコンの電源を入れる/切る操作について説明します。

この章の所要時間：20〜40分程度

セットアップ前の確認

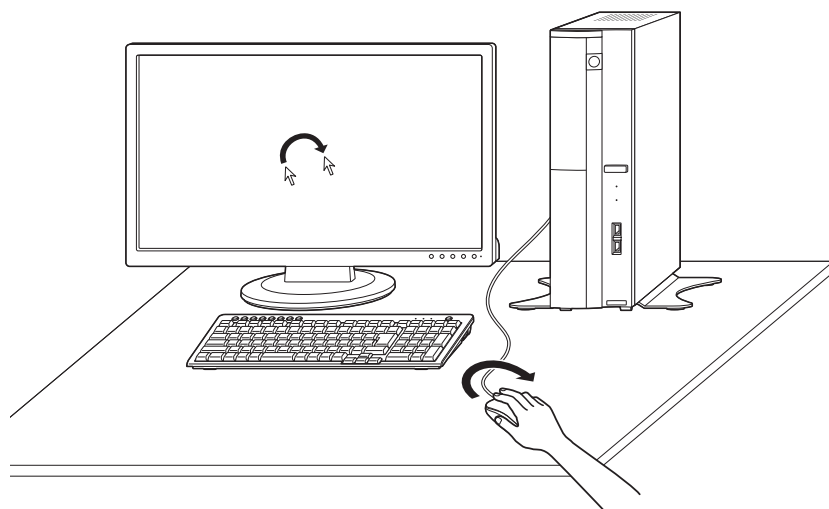
重要

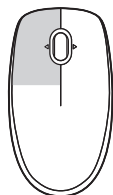
- **セットアップ中に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしない**
  故障の原因になります。p.34の画面が表示されるまでは、電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- **セットアップに関係のないボタン類やディスプレイを操作しない**
  ・セットアップで使用しないボタン類を操作しないでください。
  ・ディスプレイによっては、縦横の回転ができる(ピボット機能)ものがありますが、セットアップが完了するまで、回転させないでください。

■セットアップの基本操作

はじめてパソコンを操作するかたはご覧ください。

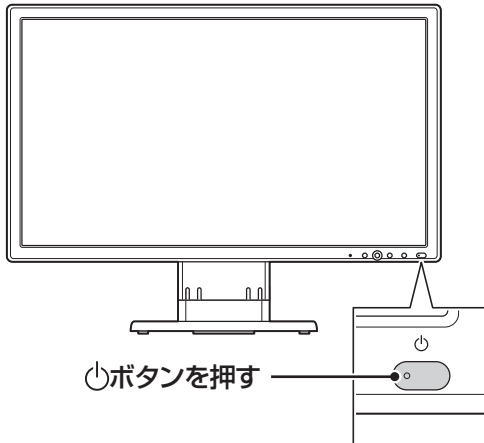
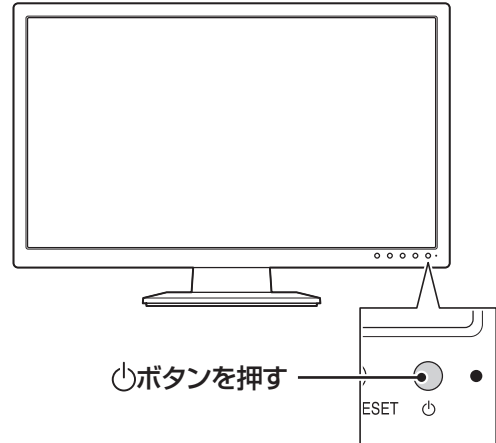
●画面の矢印 を動かす

マウスをつかんで机の上ですべらせると、その動きに合わせてマウスポインタを動かすことができます。

●クリック

マウスポインタを目的の位置に合わせてマウスの左ボタンを1回押す動作をクリックといいます。

イラストは、モデルによって異なります。

Windowsをセットアップする

1　ディスプレイの電源を入れる

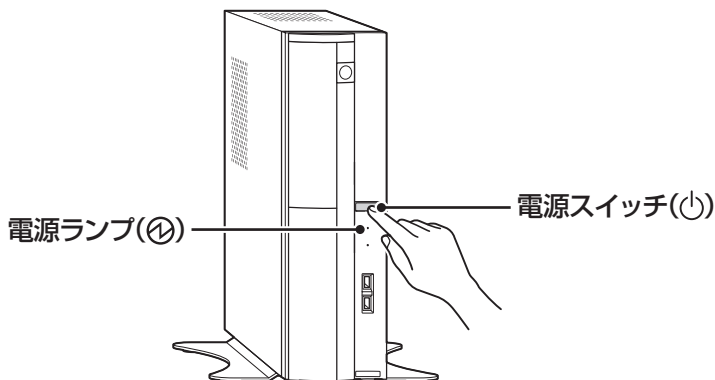
23型:F23W2Aの場合

23型:F23W1A(W)の場合

19型:F19W1A(S)の場合

液晶ディスプレイのドット抜けについて

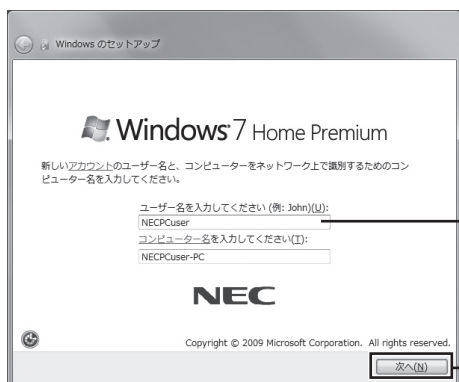
液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※液晶ディスプレイセットモデルの場合、社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインにしたがい、ドット抜けの割合を「仕様一覧」または『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」に記載しています。
ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
・「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html
液晶ディスプレイセットモデル以外の場合は、お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押す

電源が入ると、電源ランプが点灯します。

重要

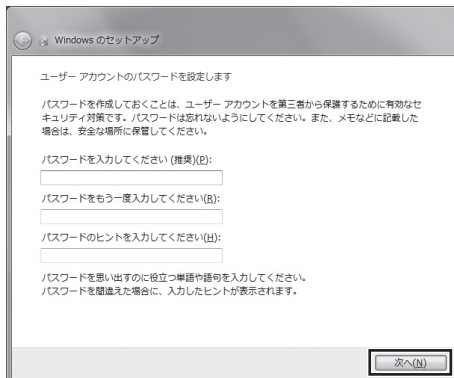
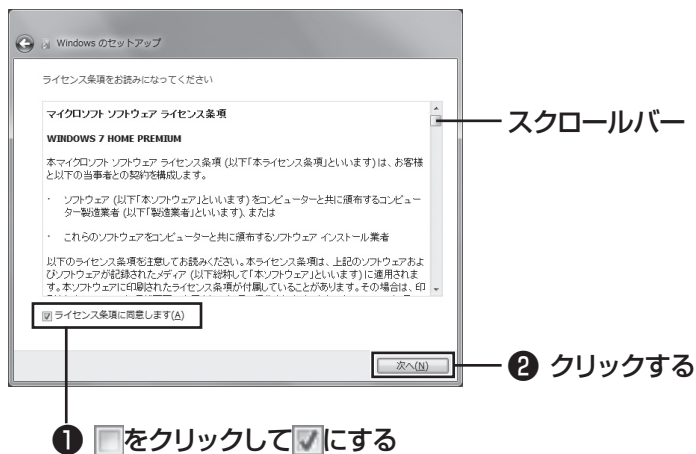
- 電源スイッチを押した後、画面に「Keyboard not found Press F1 to continue boot process」という文字が表示されたときは、キーボードが正しく接続されていない可能性があります。その場合は、パソコン本体の電源スイッチを押していったん電源を切り、キーボードを接続しなおしてから、再度電源を入れてください。
- 電源スイッチを押してから、手順3の画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ(社名のマーク)が表示されたり画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。手順3の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
- 手順3の画面が表示されずに「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示されたときは「セットアップの画面が表示されないときは」(p.34)をご覧ください。

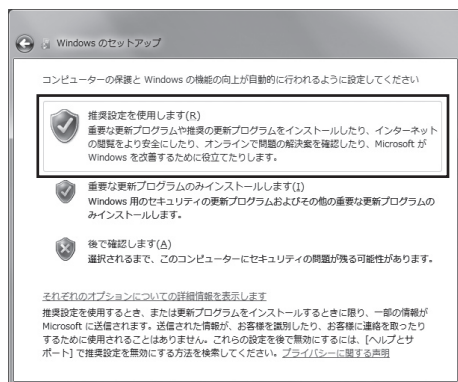
3 半角英数字(a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)で任意のユーザー名を入力し、「次へ」をクリックする

・入力したユーザー名を次の欄に控えておいてください。
　ユーザー名：

　セットアップ作業をやりなおす（再セットアップする）など、パソコンのトラブルを解決する際に必要になる場合があります。
・コンピュータ名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。コンピュータ名が同じパソコンがあるときは、別のコンピュータ名を入力してください。
・次の文字列は、パソコンのシステムで使われているため、入力しないでください。
　CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

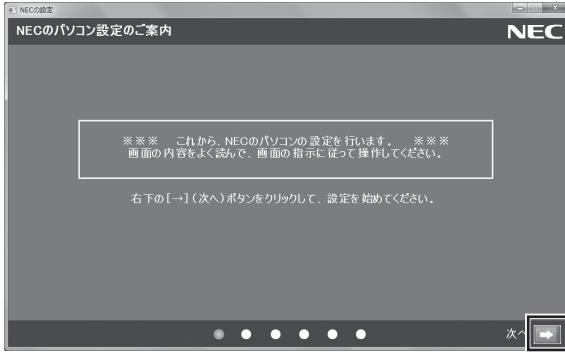
セットアップが終わってからユーザー名を追加、変更することもできます。

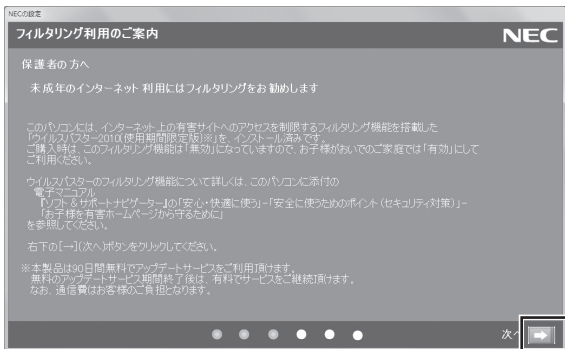
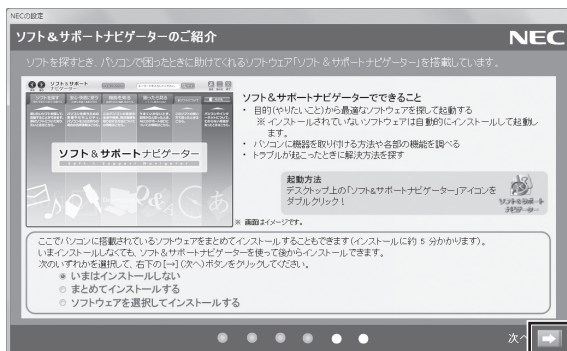
4 「次へ」をクリックする

パスワードは、ここでは入力しないでください。

5 画面の内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックする

画面右のスクロールバーを上下に動かすことで、表示されていない文章を読むことができます。

6 「推奨設定を使用します」をクリックする

これでWindowsのセットアップは完了です。
続けてパソコンの設定をおこないます。次ページの画面が表示されるまでそのままお待ちください。

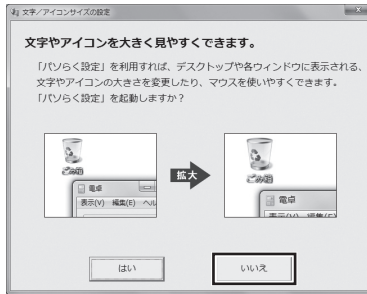
NEC独自の設定をおこなう

1 「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら ➡ をクリックする

2 BIGLOBE ホームページまたはYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、➡ をクリックする

3 注意文を読んで ➡ をクリックする

4 ➡ をクリックする

参考

・ミニマムソフトウェアパックをご購入の場合は、この画面は表示されません。手順5の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。
・はじめてパソコンを使われるかたのために、パソコンを活用するためのソフトをインストールすることもできます。画面の説明を読んで、必要に応じて「まとめてインストールする」や「ソフトウェアを選択してインストールする」の◎をクリックして◉にしてから、➡をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。パソコンを活用するためのソフトは、セットアップが終わってからインストールすることもできます。
・このマニュアルより詳しい説明が「ソフト＆サポートナビゲーター」にある場合には、参照ページを記載しています。その際にはセットアップ作業終了後、「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動してご活用ください。

しばらくするとパソコンが再起動し、手順5の画面が表示されます。

5 「いいえ」をクリックする

参考

- 文字サイズを拡大する設定をおこなう場合は、「はい」をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。
- 「パソらく設定」で設定を変更すると、ソフトにより正しく表示されないことがあります。その場合は、第4章の「文字やアイコンサイズの変更」(p.85)をご覧になり、設定を変更してください。

これでセットアップは完了です。次回からは、パソコンの電源スイッチを押すと、デスクトップ画面が表示されるようになります。

■セットアップの画面が表示されないときは

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順にしたがってください。

❶ **【F2】を押す**
BIOS(バイオス)セットアップユーティリティが表示されます。

❷ **【+】、【−】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す**
時刻の値は数字キーでも入力できます。

❸ **【Tab】や【↓】【↑】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を設定する**

❹ **【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❺ **「Yes」または「OK」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

❻ **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❼ **「Yes」または「OK」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、「Windowsをセットアップする」(p.27)の手順3をご覧になり、作業を続けてください。

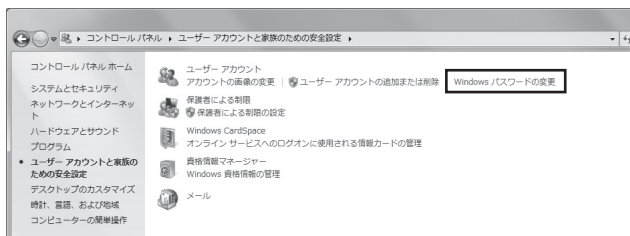
Windowsのパスワードを設定する

パソコン内の情報保護のため、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
設定すると、電源を入れたときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードが入力されないとパソコンを使うことができないため、第三者がパソコンを起動して情報を見ることを防ぐことができます。

■Windowsのパスワードを設定する

1　「 （スタート）」-「コントロールパネル」をクリックする

2　「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックする

3 「Windowsパスワードの変更」をクリックする

4 「アカウントのパスワードの作成」をクリックする

5 パスワードを入力する

パスワードは次のように設定してください。大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。

参考

- 入力したパスワードは「●●●」のように表示されます。これは、他人に見られてもわからないようにするためです。
- 「パスワードのヒントの入力」欄に、パスワードを思い出すためのヒントを入力しておくことができます。パスワードを正しく入力できない場合にヒントを表示することができます。

これでWindowsのパスワードの設定は完了です。[×] をクリックして画面を閉じてください。

パスワードを忘れたときのために

パスワードを忘れてしまうと、パソコンを使うために再セットアップが必要になります。万一に備えて「パスワード リセット ディスク」を作成しておきましょう。「パスワード リセット ディスク」を使うと新しいパスワードを作成することができます。「パスワード リセット ディスク」について詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

この後の操作について

続いてインターネットの設定をしてください。
ここでいったんパソコンを終了したいかたは「パソコンを終了する」(次ページ)をご覧ください。

インターネットの設定をおこなう
▶第3章「インターネットを始める」(p.49)

またパソコンをさらに安心・快適に使うためのいろいろな設定や作業について説明しています。ぜひご覧ください。

ソフトの探し方について知る	▶「 ソフトを探す」(p.41)
トラブルのための対策をとる	▶「トラブル対策をする」(p.45) または ▶『トラブルの予防と解決』の「第1章 トラブルの予防」
古いパソコンからデータや周辺機器を移行する	▶「パソコンを買い替えたかたへ」(p.46)
3D画像や3D映像を楽しむ(3D対応モデルのみ)	▶『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』

パソコンを終了する

画面の操作で電源が切れないときなど緊急の場合を除き、通常はマウスを使ってパソコンを終了してください。パソコン本体の電源スイッチで終了しないでください。

■パソコンの電源を切る

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

画面が暗くなり、電源ランプが消灯します。これでパソコンを終了することができました。

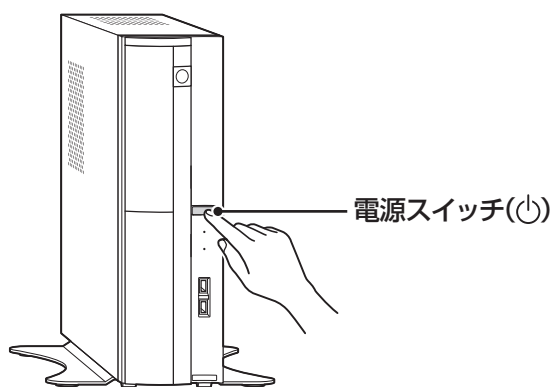
参照

再びパソコンを使い始める場合
▶「パソコンを使い始める」(次ページ)

パソコンを使い始める

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

■パソコンの電源を入れる

1 電源スイッチを押す

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力するための画面が表示されます。パスワードを入力し、➡をクリックしてください。
しばらくするとデスクトップ画面が表示され、パソコンを使い始めることができます。

ソフトを探す

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、目的に合ったソフトを探して、起動することができます。
このパソコンでは、ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトは「スタート」メニューからも探すことができない場合があります。その場合にも「ソフト&サポートナビゲーター」を使うことで、ソフトを探して自動的にインストールしてから起動できます。

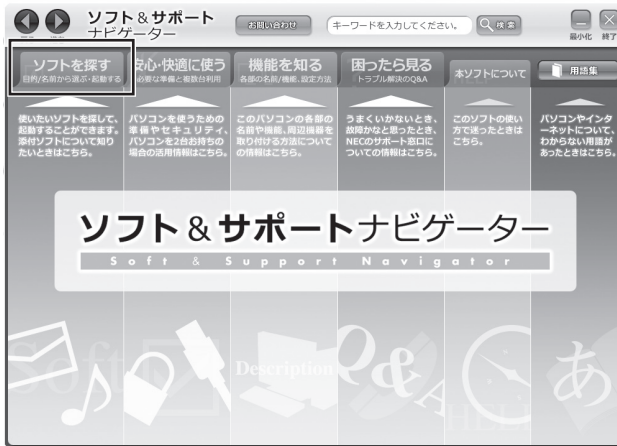
■ソフトを探して起動する

ここでは、例としてパソコンの使い方を学べるソフト「パソコンのいろは3」を探して起動します。

1　タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックする

(ソフト＆サポートナビゲーター)アイコンをクリックする

「ソフト&サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

2 「ソフトを探す」をクリックする

3 「ゲーム・学習」をクリックし、「パソコンの基本操作を学ぶ」をクリックする

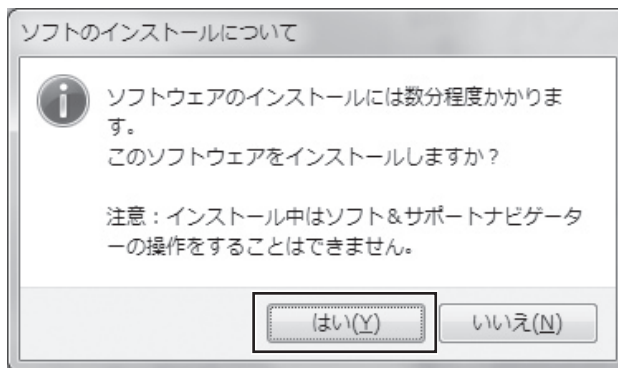
画面はモデルによって異なります。

4 「ソフトを起動」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

- ソフト名の下に「インストール済み」と表示されているソフトの場合
  →「ソフトを起動」をクリックするとすぐにソフトが起動します。

- ソフト名の下に「未インストール」と表示されているソフトの場合
  →ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトです。「ソフトを起動」をクリックしてインストールしてから起動します。

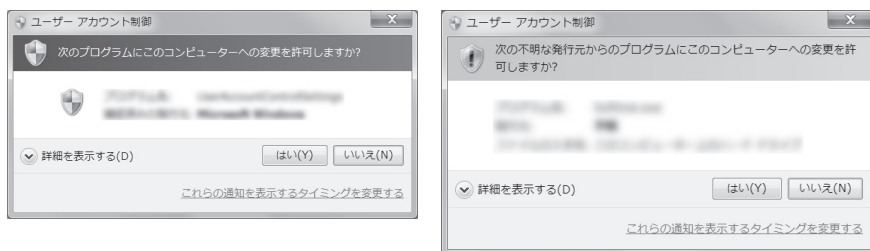
5 「はい」をクリックする

「ユーザー アカウント制御」が表示されます。

6 「ユーザー アカウント制御」が表示されたら「はい」をクリックする

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、自動的に「パソコンのいろは3」が始まります。
これで「パソコンのいろは3」を起動することができました。
「パソコンのいろは3」を終了するには、画面右下に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

次からは「ソフトを起動」をクリックしても、インストール作業なしにソフトを起動できます。また「スタート」メニューからも起動できます。

■ユーザー アカウント制御について

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。
ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、キャンセルすることで被害を防げることがあります。
「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

トラブル対策をする

パソコンにトラブルが起こったときのために、あらかじめ対策をとっておくと被害を少なくできることがあります。ここではいくつかの対策を紹介します。詳しい手順や注意は『トラブルの予防と解決』の「第1章 トラブルの予防」で説明していますので、あわせてご覧ください。

■再セットアップディスクを作成する

トラブルがどうしても解決できないときにおこなう「再セットアップ」は、通常、ハードディスク内にある再セットアップ用データを使います。しかし、ハードディスクが故障した場合は、この方法で再セットアップすることができなくなります。そのような場合に備え、再セットアップディスクを作成しておき、そのディスクから再セットアップできるようにしておいてください。

再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

参照

再セットアップディスクの作成について
▶『トラブルの予防と解決』第1章の「再セットアップディスクを作成する」

■バックアップを取る

ハードディスクの故障や寿命によって、大切なデータが失われないように、データの控え(バックアップ)を残しておきましょう。このパソコンには、バックアップを取る際に手助けになるソフトが用意されています。

バックアップを取るための手順

詳しい手順については『トラブルの予防と解決』で説明しています。第1章の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」をご覧ください。

パソコンを買い替えたかたへ

ここでは、パソコンを買い替えた場合に、古いパソコンからこのパソコンへソフトや周辺機器、データを移行する方法について説明します。

64ビット版Windows 7に対応していないソフトやドライバなどをインストールすると、不具合が起こる場合があります。移行する際には十分な確認をおこなってください。

■データを移行するには

このパソコンには、古いパソコンからデータを移行するために次のソフトが入っています。
・「Windows 転送ツール」
・「ファイナルパソコンデータ引越し」

「ファイナルパソコンデータ引越し」でのデータ移行の作業手順をご案内する動画を用意しています。
この動画では、データ移行に必要な準備や古いパソコンの設定方法などをわかりやすく解説しています。実際の移行作業の前に、デスクトップ画面にある「データ引越し動画ナビ」アイコンをダブルクリックし、動画をご覧ください。

移行できるデータには次のようなものがあります。

□ユーザーアカウント	□電子メール※	□ドキュメント
□お気に入りのサイト	□音楽・ビデオ・画像	□その他

※データ移行前にメールソフトを起動していた場合や、お使いのメールソフトの種類によっては、手動での設定(インポート)が必要になることがあります。詳しい設定方法については、「ファイナルパソコンデータ引越し」のヘルプをご覧ください。

移行のためのソフトについて
→「Windows 転送ツール」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94131522 で検索

→「ファイナルパソコンデータ引越し」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94061608 で検索

データを移行する

移行は次の順番でおこないます。

- データ移行の準備をする

データの移行にはUSBメモリーまたは外付けハードディスクなどにデータを転送する方法や、ネットワークを経由してデータを転送する方法などがあります。必要に応じてケーブルやハードディスク、LAN環境などを用意してください。

↓

- 移行のためのソフトをどちらか選んで起動する

↓

- 画面の表示にしたがい操作する

ソフトの説明をよく読んで操作してください。古いパソコンとこのパソコンの両方で操作が必要になる場合があります。

■ソフトを移行するには

ソフトの移行は次の順番でおこないます。ソフト自体に移行する機能がある場合は、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

- ソフトが64ビット版Windows 7に対応しているかチェックする

メーカのホームページやマニュアルなどでソフトが64ビット版Windows 7に対応しているか確認します。対応していない場合、このパソコンでは利用できません。

↓

- ソフトのインストールに必要な情報を確認する

インストールする際にユーザー名やライセンスキーなどが必要な場合は、それらの情報をメモしておきましょう。

↓

- 使用していたパソコンからソフトをアンインストールする

アンインストールの方法については、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

↓

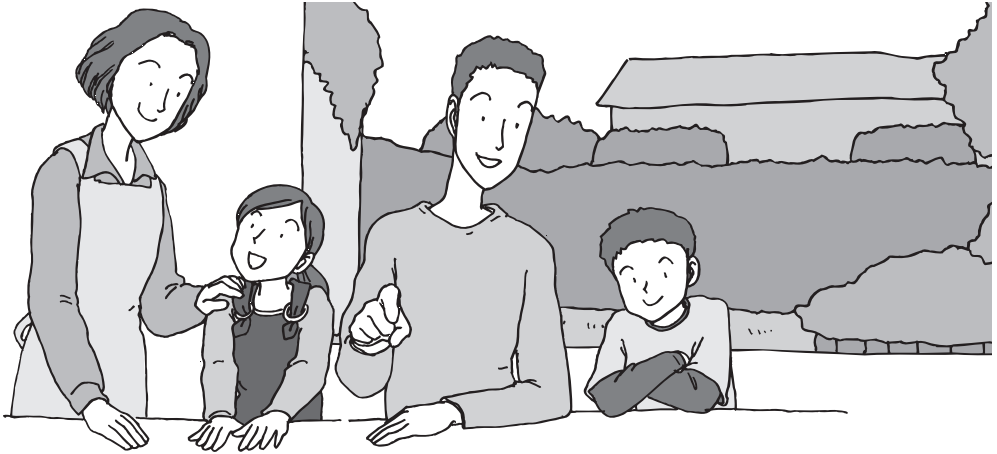
- このパソコンにソフトをインストールする

マニュアルなどをご覧になり、このパソコンにインストールしてください。必要に応じて、インストール後の設定作業をおこなってください。

■周辺機器を使えるようにするには

周辺機器の移行をする前に、メーカのホームページやマニュアルなどで機器が64ビット版Windows 7に対応しているか確認してください。最新のドライバ(周辺機器を利用するためのソフト)があればダウンロードしておき、接続が済んだらインストールをしてください。
周辺機器の取り外しや接続については、機器のマニュアルをご覧ください。

準備編

第3章

インターネットを始める

この章では、インターネットを利用するための設定やウイルス対策について説明します。はじめてインターネットを始めるかたは、最初から通してご覧いただき、インターネット接続業者(プロバイダ)への入会の流れや設定に必要なものについて確認してください。

インターネットに接続する前に

■インターネットに接続するための回線

このパソコンでインターネットに接続できる回線は、次の3つです。

このパソコンでは、ダイヤルアップ接続はご利用になれません。

FTTH （エフティーティーエイチ）	光ファイバーを使ってインターネットに接続する方法です。ほかのブロードバンド接続よりも高速な通信をおこなえます。使用するために工事が必要になる場合があります。接続には回線終端装置などの機器を使用します。
ADSL （エーディーエスエル）	家庭にあるアナログ回線(一般の電話回線)を使って、インターネットに接続する方法です。接続にはモデムなどの機器を使用します。
CATV （ケーブルテレビ/シーエーティーブイ）	ケーブルテレビ会社の回線を使ってインターネットに接続する方法です。接続にはモデムなどの機器を使用します。

■説明の流れ

お使いの環境によりお読みいただく説明が異なります。ここで、おおまかな作業の流れを確認してください。

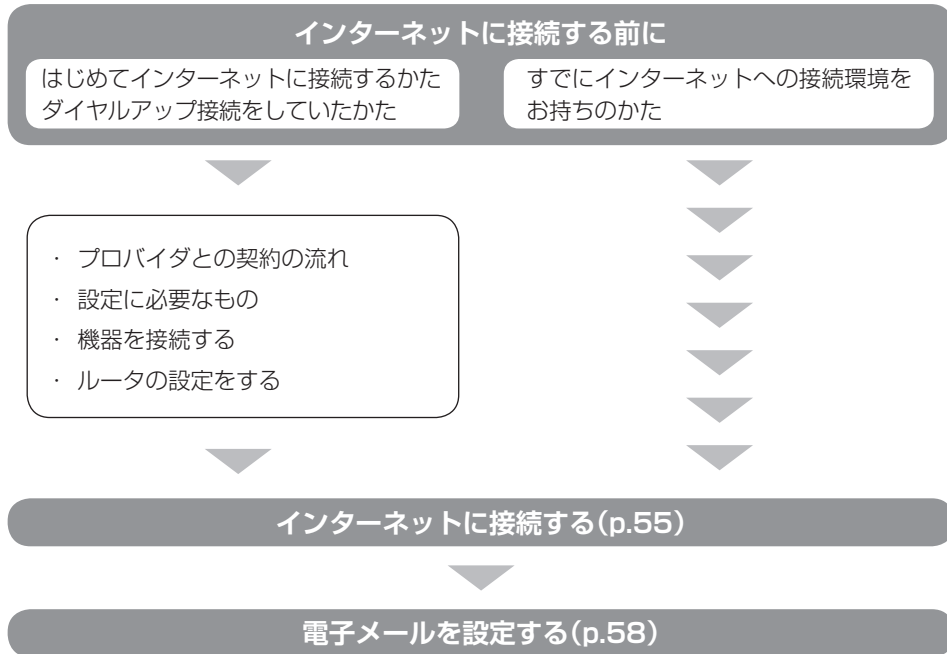
インターネットに接続する前に

はじめてインターネットに接続するかた
ダイヤルアップ接続をしていたかた

すでにインターネットへの接続環境を
お持ちのかた

・ プロバイダとの契約の流れ
・ 設定に必要なもの
・ 機器を接続する
・ ルータの設定をする

インターネットに接続する（p.55）

電子メールを設定する（p.58）

■プロバイダとの契約の流れ

ここでは、FTTHで回線終端装置を使う場合を例として説明します。その他の接続方法については各回線事業者にお問い合わせください。

1 プロバイダや申し込みたいコース(料金プラン)を決める

入会するプロバイダを特に決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。

2 プロバイダに申し込む

入会するプロバイダとコース(料金プラン)を決めたら、電話または書面で入会を申し込みます。
FTTHを利用できるか適合チェックをおこなってから、回線終端装置の準備や光ファイバーの導入工事などをおこないます。

3 回線の開通を待つ

申し込みから開通までは、通常、数週間かかります。申し込みから回線の開通までについて詳しくは、各回線事業者にお問い合わせください。

4 回線終端装置を接続する

回線や機器によって接続方法や設定が異なります。詳しくは各機器のマニュアルをご覧ください。

プロバイダに入会する(BIGLOBEの場合)

インターネットプロバイダBIGLOBEでは、お電話で入会申し込みを受け付けております。
BIGLOBE 電話で入会センター(受付時間9：00 ～ 21：00　365日)
フリーコール 0120-15-0962
※電話番号はおかけ間違えのないようにご注意願います。
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

そのほかのプロバイダに入会する

BIGLOBE以外にもさまざまなプロバイダがあります。入会方法については、各プロバイダにお問い合わせください。

ルータについて

ルータは、インターネットに接続可能な機器や複数のパソコンを接続するときに必要になります。またセキュリティの観点からも、ルータを使った接続をおすすめします。
このマニュアルではルータが接続されている例を使って説明します。

■設定に必要なもの

プロバイダに入会し回線が開通したら、インターネットに接続するために必要なものを用意してください。

□回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

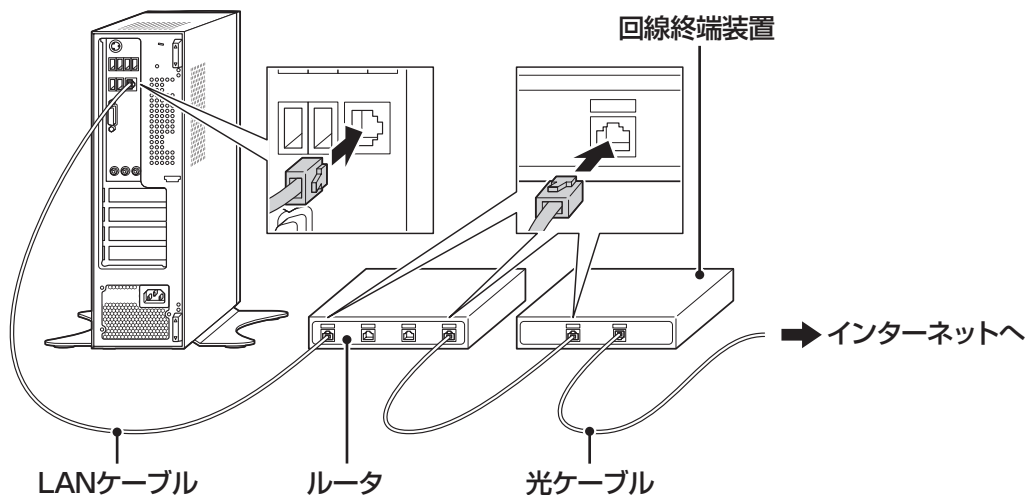
□回線終端装置

□LANケーブル

回線終端装置などに添付されていなければ、LAN(ラン)ケーブルをお買い求めください。LANケーブルには「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の2種類があります。パソコンと回線終端装置などのインターネット接続機器をつなぐときは、ストレートケーブルを使用してください。

■機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次の接続例のように接続してください。

・ プロバイダから送られてくる接続機器(回線終端装置など)にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。
・ 詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。

設定が終わったら次の「ルータの設定をする」に進んでください。

■ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

インターネットに接続する

プロバイダへの入会やネットワーク機器との接続が完了したら、インターネットに接続するための設定は完了です。
タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

インターネットに接続できない場合には、『トラブルの予防と解決』第3章の「インターネットに関するトラブルのとき」をご覧ください。

CATV接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。

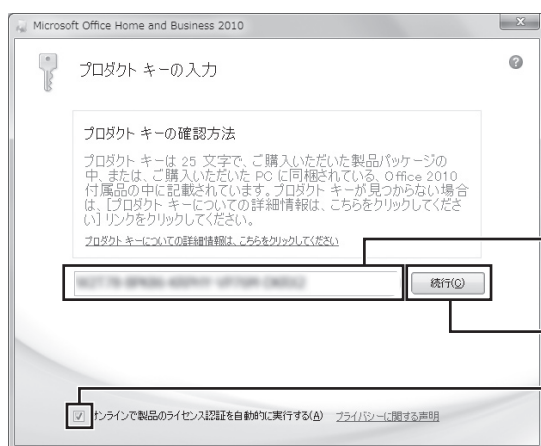
Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキー入力やライセンス認証が必要となります。

プロダクトキーの入力について

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキーを入力する必要があります。

画面はモデルによって異なります。

重要

プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中に入っているDVD-ROMケースに記載されています。

ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、プロダクトキーの入力画面で「続行」をクリックした後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

重要

- 30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。
- 再セットアップなどで「Microsoft Office 2010」を再インストールする場合、プロダクトキー入力やライセンス認証も再度必要となります。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。

電子メールを設定する

ここでは、Office 2010モデルで「Outlook 2010」を使った設定を説明します。

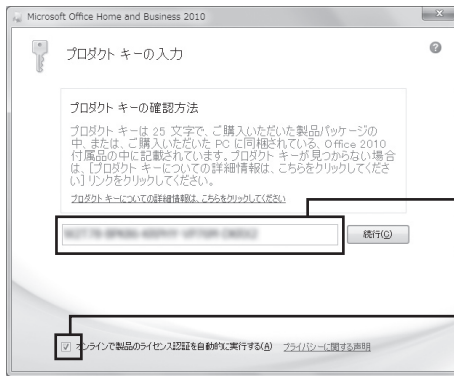
・ Outlookのセットアップ、インストールについての不明点はマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。お問い合わせ先については「ソフトのサポート窓口一覧」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92145010 で検索)をご覧ください。
・ 使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらもあわせてご覧になり、設定することをおすすめします。

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」をクリックして、リストから「Microsoft Office」-「Microsoft Outlook 2010」をクリックする

はじめて「Microsoft Office 2010」を起動した場合には、「プロダクト キーの入力」が表示されます。

2 プロダクトキーを入力する

画面はモデルによって異なります。

プロダクトキーを入力し終わるとキーの確認がおこなわれます。

プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中の、DVD-ROMケースに記載されています。

3 「続行」をクリックする

参考

ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、「続行」をクリックした後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

- 30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。
- 再セットアップする場合など、「Microsoft Office 2010」を再インストールするときは、プロダクトキーの入力やライセンス認証が再度必要です。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。

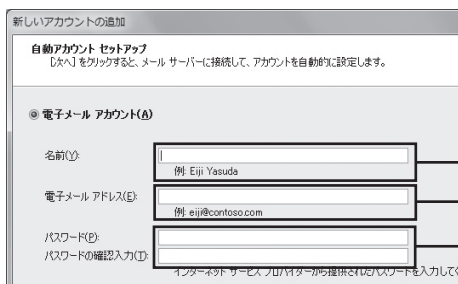
4 画面の内容を確認し、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」の□をクリックして☑にし、「続行」をクリックする

5 「閉じる」をクリックする

「Microsoft Outlook 2010 スタートアップ」が開始されます。

6 「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

8 自動アカウント設定のための情報を入力する

❶ 自分の名前を入力します。日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。

❷ ご利用の電子メールアドレスを入力します。

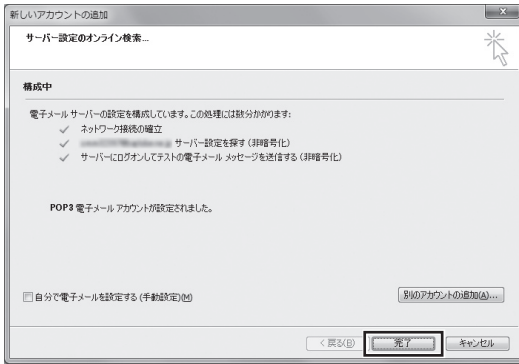
❸ プロバイダの会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。確認のため、パスワードを再度入力します。

参考

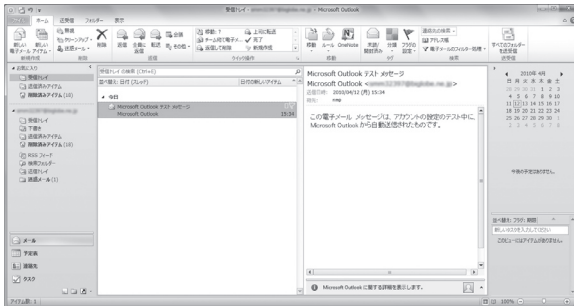
サーバーの自動アカウント設定に失敗した場合は手順8の画面下にある「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。次に「新しいアカウントの追加」の画面で「インターネット電子メール」を◉にして「次へ」をクリックします。表示された画面に情報を入力し、画面の説明を読んで設定します。

9 設定が終わったら「次へ」をクリックする

サーバーの自動アカウント設定に失敗したときは、もう一度設定内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。

10 「完了」をクリックする

重要

「完了」をクリックすると、「ユーザー名の指定」画面、プライバシーオプションを設定する画面やMicrosoft Updateを利用するための登録画面などが表示されます。説明をよく読んで、画面の指示にしたがって進めてください。

次の画面が表示されれば完了です。

メールの設定がうまくいかないときやほかのパソコンからメールのデータを移行したいときは

→「メール接続」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92060040 で検索

→「メール操作・設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92060050 で検索

続けてウイルス対策をしてください。

インターネットを始める

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。

■「ウイルスバスター」でウイルス対策を開始する

ここでは、このパソコンにあらかじめ用意されている「ウイルスバスター」を使ったウイルス対策の流れを説明します。

●インターネット接続の設定
▶「インターネットに接続する」(p.55)

↓

パソコンをご購入後、はじめてインターネットに接続してから3日間はユーザー登録をしていなくてもインターネット経由で自動的に「ウイルスバスター」が更新(アップデート)されます。

●ユーザー登録(無料)

↓

●アップデート(90日間無料)

↓

●製品版(有料)を購入し、アップデートを継続

ウイルス対策を始めるための詳しい手順について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020 で検索

すでに製品版をお持ちのかたは、そのシリアル番号で登録できる場合があります。お持ちのシリアル番号がご使用のパソコンで登録できるかどうかはウイルスバスタークラブセンターへお問い合わせください。

重要

ユーザー登録後はじめてアップデートした日から90日は、無料でアップデートをおこなうことができます。90日を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。

ご購入時にインストールされている「ウイルスバスター」では、このパソコンに搭載されているソフトの通信を遮断しないよう、あらかじめ設定されています。無償試用期間終了後にライセンスを購入して製品版へアップグレードすれば、その設定が引き継がれます。
なお市販のセキュリティソフトをお使いになると、通信をブロックする可能性があります。その場合はセキュリティソフトのマニュアルやヘルプをご覧になり、アクセス許可の設定をしてください。

■その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

●Windows Updateをする

このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

→「Windowsの更新」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

●ファイアウォール機能を使う

ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」または「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」が有効になっています。

・「Windowsファイアウォール」と「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を同時に使用することはできません。
・「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を使うには、ファイアウォール機能の追加インストールが必要です。

→「不正アクセスの防止」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91050010 で検索

「ソフト＆サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

→「安全に使うためのポイント（セキュリティ対策）」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91030010 で検索

お客様登録のお願い

「お客様登録」とは、お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日などの情報を、121wareに登録することです。121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。

■登録のメリット

1 登録料・会費無料

登録料や会費は無料です。
法人のお客様としてご使用の場合も、登録をおすすめします。

2 電話での「使い方相談」※

無料で1年間、使い方の相談ができます。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)からお電話をさしあげる「電話サポート予約サービス」も利用可能になります。
NECサポートサイト(121ware.com)の次のURLから予約ができます。
http://121ware.com/support/reserve-tel/
※使い方相談のご利用には、お客様登録が必要です。

3 あなただけのマイページ

マイページは、あなた専用のページです。
登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

4 NEC Directの優待サービス&ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえます。
NEC商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

その他の特典

買い取り
不要になったパソコンの買い取りサービスがインターネットからできます。

修理
インターネットで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

メールニュース
商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※サービス内容などは予告なしに変更される場合があります。

参考

パソコン本体以外の商品/ NEC Refreshed PC(再生パソコン)の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

参照

お客様登録の方法について
▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」
▶121ware.com(http://121ware.com/my/)でも詳しくご紹介しています。

■お客様登録に関するお問い合わせ先

「121ware(ワントゥワンウェア)登録センター」
電話:フリーコール 0120-469-121(携帯電話・PHSでもご利用になれます)
受付時間:9:00 ～ 17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)
※:システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト121ware(http://121ware.com)をご覧ください。

基本編

第4章

基本機能

この章では、音量の調節や消費電力を抑える方法、メモリーカードやDVDなどのディスクをセットする方法など、このパソコンを使うときのもっとも基本的な操作を説明します。

ソフト&サポートナビゲーター(画面で見るマニュアル)

「ソフト&サポートナビゲーター」は、パソコンの詳しい使い方を知りたいときや困ったときに役立つ、画面で見るマニュアルとしての機能を持っています。また目的に合ったソフトを探して使い方を見たり、そのままインストールや起動をしたりすることができます。「ソフト&サポートナビゲーター」は次のようなときに便利です。

・ Windowsの便利な使い方を知りたい。
・ 目的に合ったソフトを探したり、見つけたソフトをすぐに起動したい。
・ うまくいかないときや、故障かな?と思ったときの対処法を知りたい。
・ パソコンの省電力機能や表示機能など、パソコンの機能についてより詳しく知りたい。
・ 用語集でわからない単語の意味を調べたい。

ソフト&サポートナビゲーターを起動する

タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

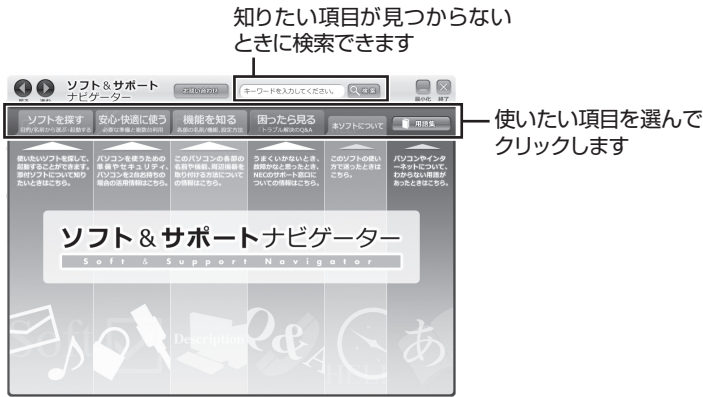
(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックする

「ソフト&サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

参考

デスクトップのアイコン(ソフト&サポートナビゲーター)をダブルクリックするか、キーボード上部にあるワンタッチスタートボタン(ソフト)を押すことでも起動できます。

ソフト＆サポートナビゲーターを使う

知りたい項目があるときは項目を選んでクリックします。「ソフト＆サポートナビゲーター」で知りたい項目が見つからないときは、キーワードを入力して「検索」をクリックします。

画面はモデルによって異なります。

目的からソフトを探す

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、使いたい機能からソフトを探すことができます。

1 「ソフトを探す」をクリックする

2 一覧から使いたい目的をクリックする

画面はモデルによって異なります。

目的に合ったソフトが表示されます。複数のソフトがあるときは上のタブをクリックしてソフトを選択します。

参考

はじめて検索をおこなうときは、CyberSupport for NECの「使用許諾契約書」が表示されます。内容をよく読み、「同意する」をクリックしてください。クリック後、検索が再開されますので少しお待ちください。

ソフトをインストールする

「ソフト＆サポートナビゲーター」の画面上からソフトをインストールすることができます。

1 インストールしたいソフトの説明を表示させる

インストールされていないソフトはソフト名の下に「未インストール」と表示されています。

2 「ソフトを起動」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

「ソフトのインストールについて」が表示されます。

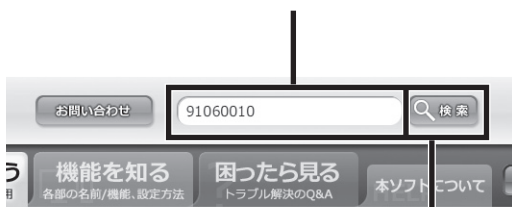
3 「はい」をクリックする

インストールが開始されます。
画面の指示にしたがってインストールしてください。

番号検索について

マニュアルに出てくる検索番号を「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例)検索番号が「91060010」の場合

❶マニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を入力する

❷「検索」をクリックする

パソコンのいろは3 (パソコン練習ソフト)

「パソコンのいろは3」を使って、パソコンやWindows 7、「Microsoft Office 2010」の基本操作を学ぶことができます。

「パソコンのいろは3」とは

初心者のかたがパソコンを学ぶためのソフトです。マウスやキーボードの使い方から電子メールやホームページの見方といった「パソコンのいろは」を学ぶことができます。パソコンやWindowsの基本操作をまず覚えたいかたは、「パソコンのいろは3」で学習を始めてください。

参考

- ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。
- Office 2010モデルでは「Microsoft Office 2010」の操作も学習できます。

「パソコンのいろは3」を起動する

1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソコンのいろは3」の「ソフトを起動」をクリックする**

自動的に「パソコンのいろは3」が始まります。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

参考

「Microsoft Office 2010」の操作を学習したいときは、「パソコンのいろは3 Office 2010編」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94091808 で検索)の「ソフトを起動」をクリックします。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

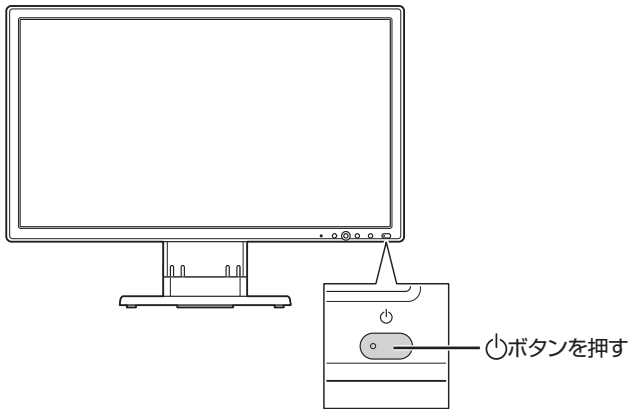
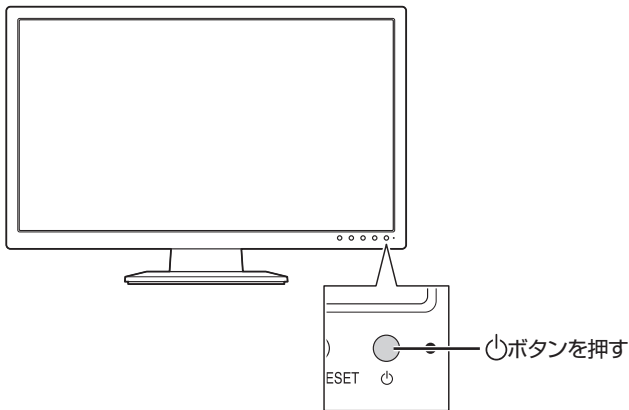
「パソコンのいろは3」を終了する

画面右下に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

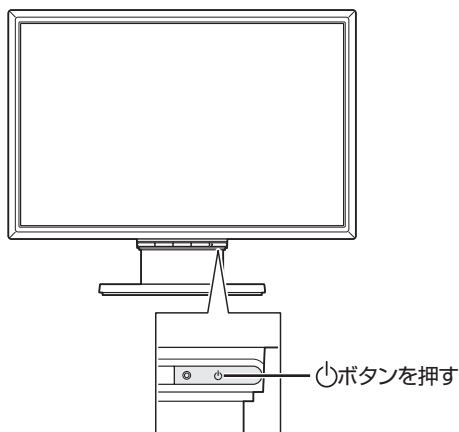
電源の入れ方/切り方

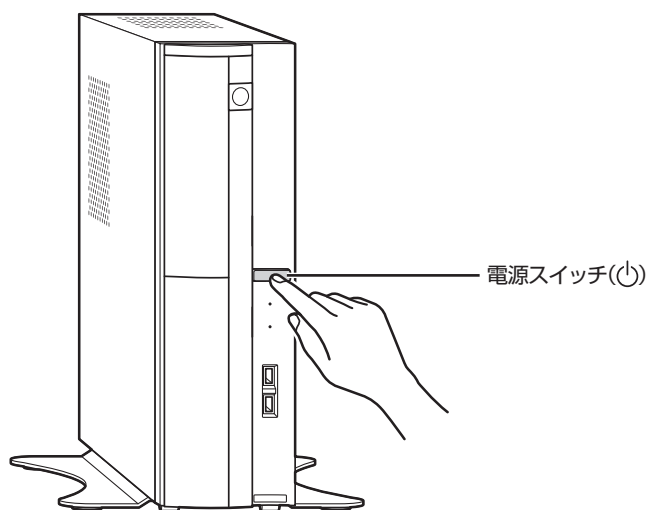
電源の入れ方

ディスプレイの電源を入れる

23型：F23W2Aの場合

23型：F23W1A(W)の場合

参考

- 電源スイッチを押しても、ディスプレイの電源ランプが点灯しない場合、電源コードが正しく接続されていないことが考えられます。第1章の「電源コードを接続する」(p.22)をご覧ください。
- パソコン本体の電源を入れるまで、ディスプレイには何も表示されません。

19型:F19W1A(S)の場合

パソコン本体の電源を入れる

1 電源スイッチを押す

2 使う人の名前を選択する画面が表示された場合には、名前の上のアイコンをクリックする

パスワードを設定している場合には、パスワードを入力し、をクリックします。

デスクトップ画面が表示されます。

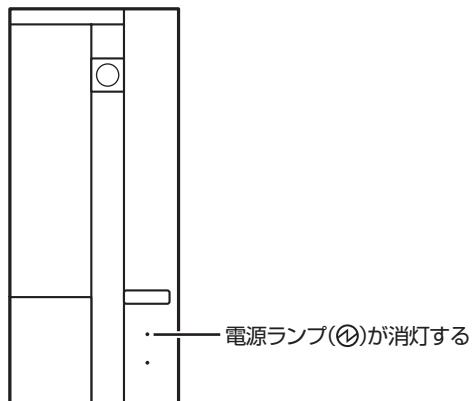
参考

電源スイッチを押した後、デスクトップ画面が表示されて、内蔵ドライブアクセスランプ( )が点滅しなくなるまで、電源スイッチを押さないでください。無理に電源を切ると、故障の原因になります。

電源の切り方

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

数秒後に画面が暗くなり、自動的に電源が切れます。

2 電源ランプが消えるのを確認する

参照

スリープ状態について
→「省電力機能」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

「スタート」メニューの操作で電源が切れないとき

画面の表示が動かなくなったり、操作の途中でマウスやキーボードが反応しなくなったりして、パソコンの電源が切れなくなってしまうことがあります。その場合、次の方法で電源を切ることができます。

1 パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続ける

2 電源が切れてから5秒以上待ち、もう一度電源スイッチを押す

3 パソコンの電源が入ったら、改めて前ページの操作で電源を切る

重要

- 強制的に電源を切る場合は、内蔵ドライブアクセスランプ( )や7メディア対応カードスロット(搭載モデルのみ)のメディアアクセスランプなどが点灯していないことを確認してください。また、各種メディアは取り出しておいてください。
- パソコン本体の電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。何度も繰り返すと、パソコンが起動しなくなってしまうこともあるため、この方法で電源を切ることは、できるだけ避けてください。

参照

メディアアクセスランプについて
▶「使用できるメモリーカードの種類」(p.87)

省電力機能

このパソコンでは、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的に画面を暗くするなど、省電力機能が設定されています。

省電力状態の概要

次の省電力状態で消費電力が節約できます。

● **次の時間の経過後ディスプレイを暗くする**
Windows 7では、パソコンを使用しないで5分すると画面は自動的に暗くなります。

● **ディスプレイの電源を切る**
何も操作しない状態が続いたとき、ディスプレイの電源を自動的に切る時間が設定できます。ご購入時は、20分でディスプレイの電源が切れるように設定されています。

● **スリープ状態にする**
ディスプレイの電源が切れてからも、操作しない状態が続いたとき、ハードディスクなどの電源を切って消費電力を節約するように設定できます。ご購入時は、60分でスリープ状態になるよう設定されています。

● **休止状態にする**
パソコンの状態や作業中のデータをディスクに保存した上で、Windowsは終了せずにパソコンの電源を切るように設定できます。ご購入時の状態では、設定を変更しないかぎり休止状態になりません。

参照
省電力機能の詳細、設定の変更について
→「省電力機能」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

参考
ご購入時、このパソコンにはハイブリッドスリープが設定されています。ハイブリッドスリープとは、スリープ状態になるとき、ハードディスクに作業中のデータを保存するような設定です。スリープ状態時に電源コードが抜けるなどの不測の事態が発生しても、問題なく作業を再開することができます。

参照
休止状態になるように設定する
→「省電力機能を使う」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160020 で検索

操作していない時間と省電力状態の概要

● **パソコンを使っていない時間と省電力状態**

画面が暗くなったときには

省電力機能で画面が暗くなっているときは、キーボードのキー(【Shift】など)を押してください。
それでも画面が明るくならないときは、電源スイッチを軽く1回押してください。

電源ランプ

パソコンの電源の状態は電源ランプでわかります。

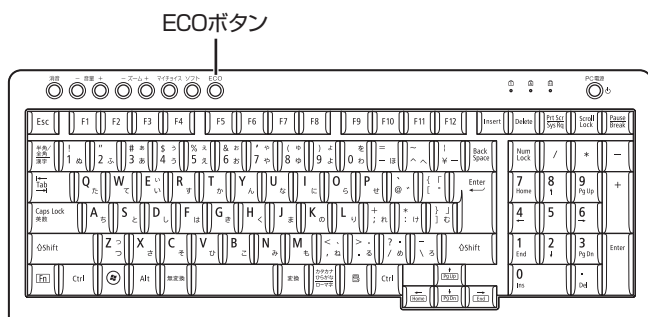
●電源ランプ(⏻)と電源の状態

パソコン本体の電源ランプ	電源の状態
緑色に点灯	電源が入っている
オレンジ色に点灯	スリープ状態
消灯	電源が切れている、または休止状態

ECOボタン

Windows 7では、消費電力に関する設定を「電源プラン」と呼びます。このパソコンではECOボタンを押すだけで、パソコンの消費電力を節約するための電源プランに切り換えることができます。もとに戻すときには、もう一度ECOボタンを押すだけで設定を切り換えることができます。現在の電源プランは、画面右下の通知領域にある をクリックし、隠れている電源プランのアイコン(または)で確認します。

参考

- 液晶ディスプレイセットモデルのディスプレイの場合、ECOボタンで電源プランを切り換えたときに、輝度も一緒に切り換わります。ECOボタンで切り換える電源プランの輝度は、「ECOモード設定ツール」を使って設定することができます。
- ディスプレイのボタンで調整した輝度は、パソコンを再起動したり、省電力状態から復帰すると、「ECOモード設定ツール」で設定されている輝度に戻ります。常に同じ輝度で使い続けたい場合は、「ECOモード設定ツール」で電源プランの「詳細設定」から「ディスプレイの明るさ設定」の「ECOボタンで明るさを変更する」の をクリックして にしてください。
- 「ECOモード設定ツール」で電源の設定を変更することができます。

ECOボタンの設定について

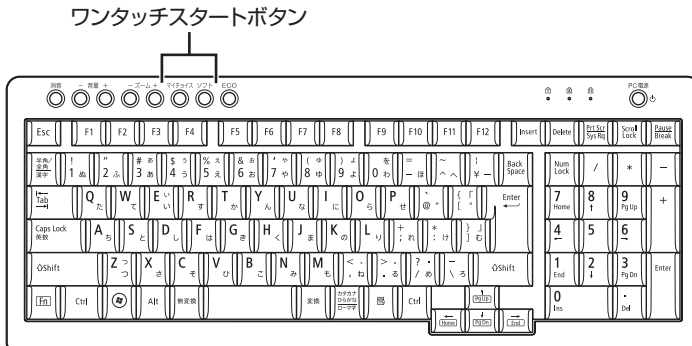
ご購入時は、ECOボタンを押すたびに、「VALUESTAR」と「ECO」の電源プランを交互に切り換えるように設定されています。

ECOモード設定ツールについて
→「ECOモード設定ツール」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94050315で検索

電源プラン		VALUESTAR(ご購入時)	ECO
アイコン		(青色)	(緑色)
電源プランの概要		パフォーマンスと電力の節約のバランスをとった設定	パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定
項目	ディスプレイの電源を切る	20分	5分
	ハードディスクの電源を切る	なし	10分
	スリープ状態にする	60分	15分
	休止状態にする	なし	スリープ状態に移行してから30時間

ワンタッチスタートボタンの設定

ワンタッチスタートボタンは、押すだけでソフトを起動できます。

ワンタッチスタートボタンと機能

ボタン	説　明
マイ チョイス※	自分が登録したソフトを起動します。
ソフト	「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動します。

※はじめて【マイ　チョイス】を押したときに、【マイ　チョイス】にどのソフトを登録するか選択します。

ワンタッチスタートボタンの設定を変更する

「スタート」-「すべてのプログラム」-「ワンタッチスタートボタンの設定」-「ワンタッチスタートボタンの設定」をクリックして起動する「ワンタッチスタートボタンの設定」で、ワンタッチスタートボタンで起動するソフトを変更することができます。

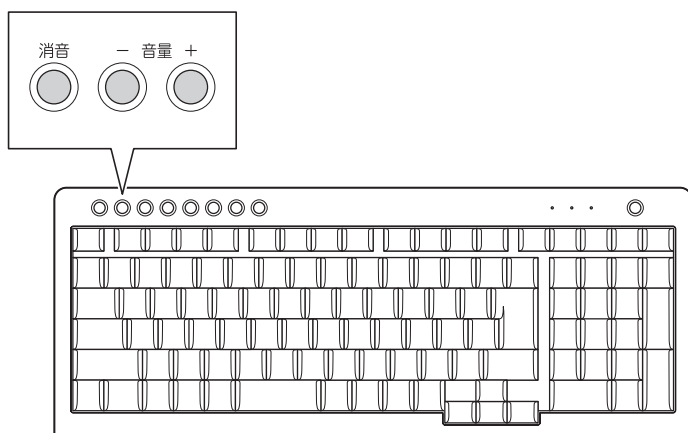
ワンタッチスタートボタンの設定を変更する

▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「ワンタッチスタートボタンの設定」-「ワンタッチスタートボタンの設定ヘルプ」

音量の調節

パソコンの音が大きすぎたり、小さすぎたりすると感じるときは、キーボードやディスプレイでスピーカの音量を調節することができます。

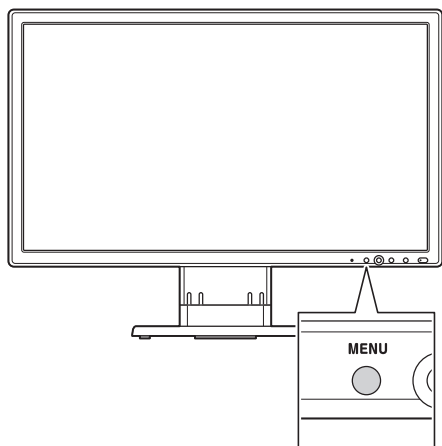
キーボードから音量を調節する

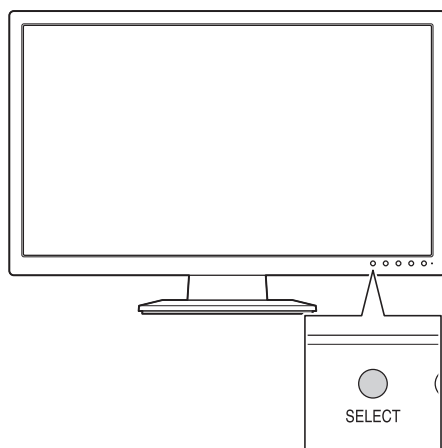
【音量】の－を押すと、音が小さくなります。
【音量】の＋を押すと、音が大きくなります。
【消音】を押すと音声のオン/オフが切り換えられます。画面右下の通知領域にが表示されているときは音声が消え、が表示されているときは音声が聞こえます。

参考
キーボードから音量を変更するとき、起動しているソフトによっては、音量の表示が変わらない場合があります。

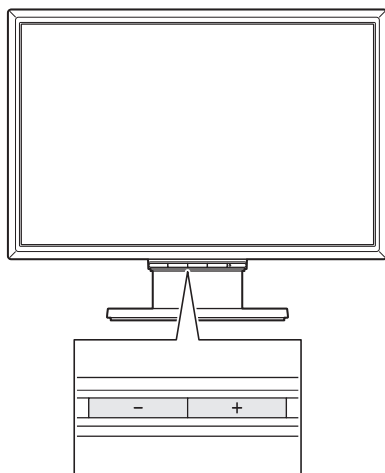
ディスプレイから音量を調節する

液晶ディスプレイセットモデルの場合、ディスプレイから音量を調節できます。詳しくは、各ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

●F23W2A

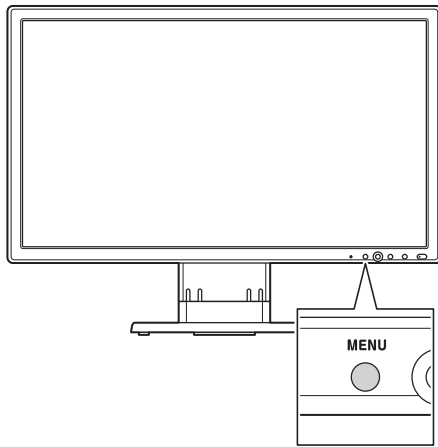
ディスプレイのMENUボタンから調節します。

●F23W1A(W)

ディスプレイのSELECTボタンから調節します。

●**F19W1A(S)**

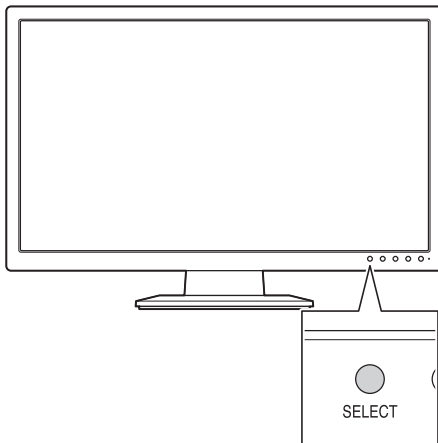
ディスプレイの+、−ボタンで調節します。

画面の明るさの調節

液晶ディスプレイセットモデルの場合、画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると感じたときは、ディスプレイから輝度(画面の明るさ)を調節できます。詳しくは各ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

●F23W2A

ディスプレイのMENUボタンから調節します。

●F23W1A(W)

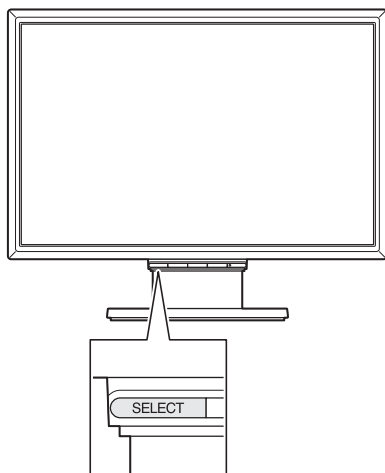
ディスプレイのSELECTボタンから調節します。

参考

- 液晶ディスプレイセットモデルの場合、ECOボタンを押して電源プランが「ECO」に設定されると、セットのディスプレイの輝度が自動的に50%に下がります。
- ディスプレイのボタンで調節した輝度は、パソコンを再起動したり、省電力状態から復帰すると、「ECOモード設定ツール」の電源プランで設定されている輝度に戻ります。
- パソコンを使用しないでしばらくすると、画面は自動的に暗くなります。

重要

液晶ディスプレイセットモデルのディスプレイ以外の場合、接続しているディスプレイによって輝度を調節できる場合と、できない場合があります。詳しくは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

●**F19W1A(S)**

ディスプレイのSELECTボタンから調節します。

文字やアイコンサイズの変更

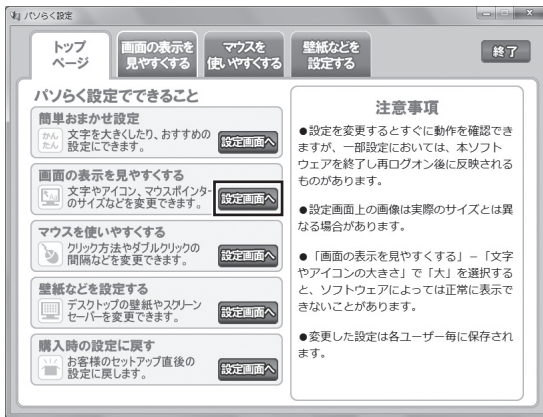
画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」で変更する

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

1 **「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」の「ソフトを起動」をクリックする**

「パソらく設定」が起動します。

2 **「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリックする**

3 **好みのサイズを選んでクリックする**

4 **「終了」をクリックする**

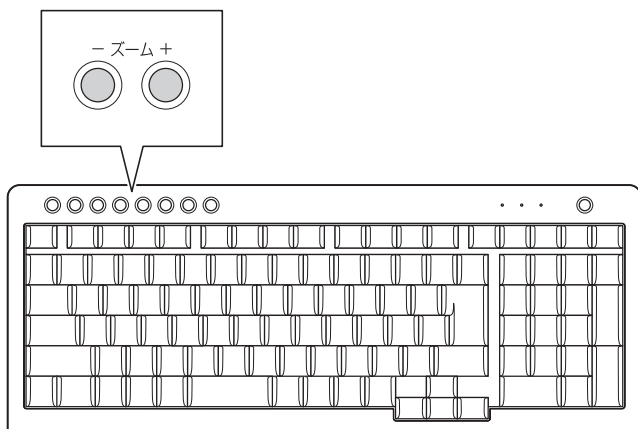
5 **「保存して終了」をクリックする**

6 **「今すぐログオフ」をクリックする**

参考

- 「標準(100%)」以外の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。
- 「パソらく設定」では、文字やアイコンの大きさを変更するほかに、デスクトップの壁紙やスクリーンセーバーの変更もできます。
- 変更した設定をもとに戻すときは、「パソらく設定」のトップページで「購入時の設定に戻す」の「設定画面へ」をクリックし、表示された画面で「戻す」をクリックしてください。以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

ズームボタンで変更する

キーボード上部のズームボタンを使うと、Internet ExplorerやOutlook 2010などズーム機能に対応しているソフトで、文字サイズを変更できます。

ズームボタンについての注意や、動作するソフトについて
→「キーボード上部のボタンなど」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93040040で検索

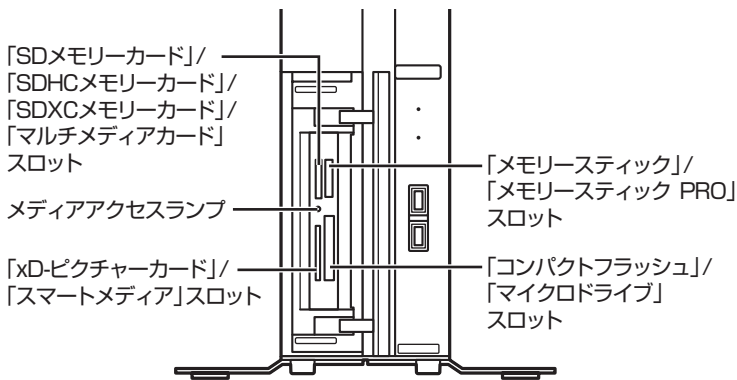
メモリーカード

使用できるメモリーカードの種類

7メディア対応カードスロットモデルでは、次のメモリーカードを使用することができます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード
- マルチメディアカード
- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- スマートメディア
- xD-ピクチャーカード
- マイクロドライブ
- コンパクトフラッシュ

参照

メモリーカードやアダプタの形状、注意事項などの詳細について
→「7メディア対応カードスロット」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015120 で検索

市販のアダプタが必要なメモリーカード

miniSDカード、microSDカード、メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ(M2)は必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

重要

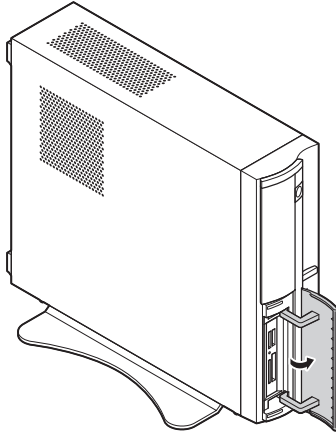
- **必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。**
- **各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。**

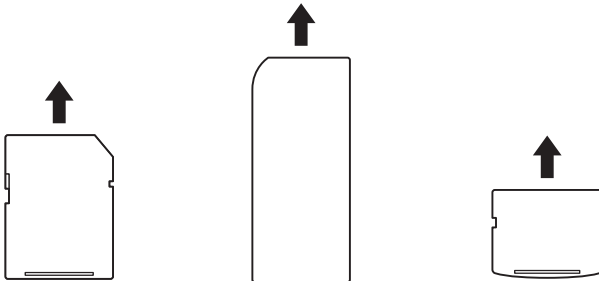
メモリーカードを使用するときの注意

・ メモリーカードの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。
・ NECでは市販のメモリーカードに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。
・ メモリーカードの説明書などをよく読んでから使用してください。

メモリーカードをセットする

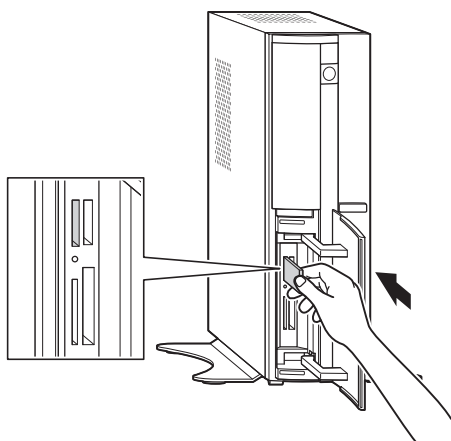
1 本体前面のカバーを開ける

本体前面カバーを左側から手前に引いて開けてください。

2 メモリーカードを差し込む向きを確認する

メモリーカードはそれぞれ次の図の向きで差し込んでください。

重要

・ メモリーカードには表面と裏面があります。またスロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、メモリーカードの説明書をご覧ください。
・ メモリーカードは誤った操作方法で取り扱わないでください。誤った操作によってパソコンが故障した際は、有償での修理となる場合がありますのでご注意ください。

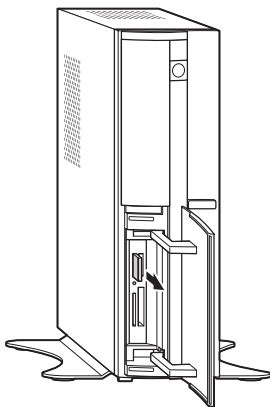
3 対応スロットにしっかり差し込む

イラストはSDメモリーカードの場合の例です。表面を左側に向けて差し込んでください。

メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出す場合は、まずメディアアクセスランプを確認してください。

1 メディアアクセスランプを確認する

「スタート」-「コンピューター」をクリックし、メモリーカードが入っているドライブアイコンを右クリックしてください。
表示されるメニューで「取り出し」を選択し、ランプの消灯を確認してください。

2 メモリーカードをまっすぐに引き抜く

重要

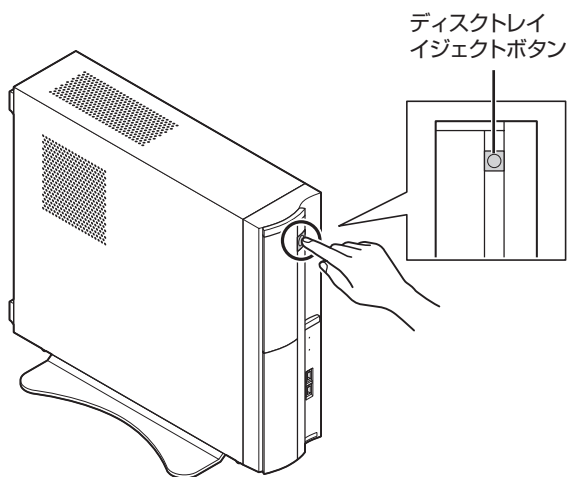
メディアアクセスランプ点灯中は、メモリーカードを取り出さないでください。故障やデータの不具合の原因になります。

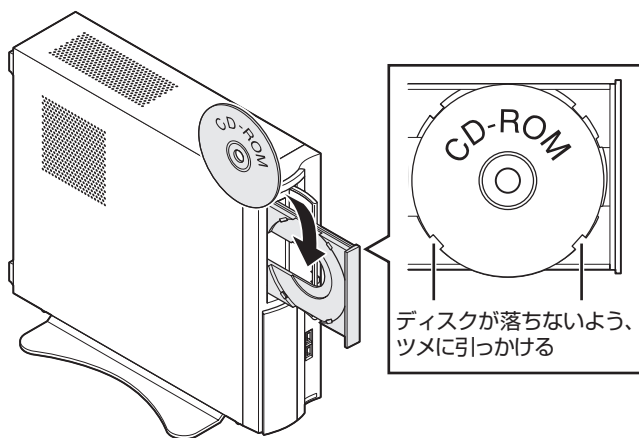
参照

メディアアクセスランプについて
▶「使用できるメモリーカードの種類」(p.87)

ディスク（DVD/CDなど）

ディスクをセットする

1 ディスクトレイイジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが出てきます。

2 ディスクをセットする

重要

- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ブルーレイディスクドライブモデルで使用できるブルーレイディスクも、CDやDVDと同じように扱います。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

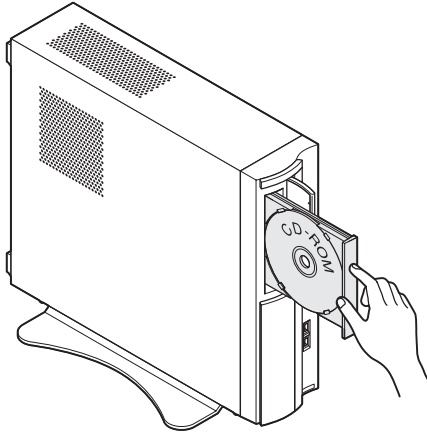
重要

- 12cmのディスクが利用できます。
- 8cmのディスクは利用できません。
- 星型や名刺型などの円形ではない異形ディスクや、規格外に容量の大きな書き込みディスクなどは利用できません。

参照

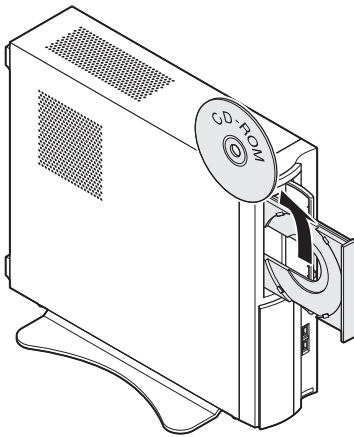
使用できるディスクやデータ形式について

→「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93070010で検索

3 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを収納する

ディスクを取り出す

1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す

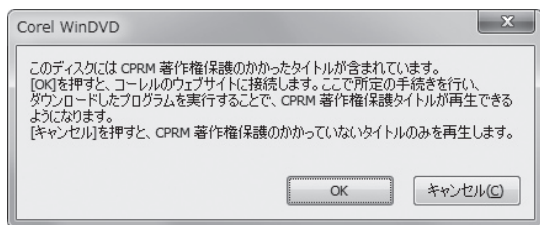
ディスクトレイが出てきます。

2 ディスクを取り出す

3 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

重要

- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

CPRMのサポートに関する画面が表示されたら

3D対応モデル以外で、DVD/CDドライブにディスクを入れた直後に次の画面が表示された場合は、CPRMコンテンツを再生するためのデバイス鍵をダウンロードしてください。

1 表示された画面で「OK」をクリックする

自動的にInternet Explorerが起動し、登録画面が表示されます。

Corelオンライン登録ページにユーザー登録をおこなった電子メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

2 「DownloadNow」をクリックして、CPRM Packをダウンロードする

3 ソフトを終了する

4 ダウンロードしたCPRM.exeを起動する

インストールが開始されます。画面の指示にしたがい操作してください。

5 「Pack is successfully installed」と表示されたら、「OK」をクリックする

重要

- CPRMはDVDなどに採用されている著作権保護機能です。この機能を含んだデータが録画されたDVDを視聴するためには、デバイス鍵をダウンロードする必要があります。
- CPRM Packのダウンロードをするには、インターネットに接続する必要があります。
- 3D対応モデルに搭載されている「PowerDVD 3D」を使用してCPRMコンテンツを再生する際は、デバイス鍵をダウンロードする必要はありません。

参考

Corelオンライン登録ページにユーザー登録をおこなっていない場合は、「登録」をクリックし登録をおこなってください。

6 **「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」を起動し、CPRMコンテンツを含むディスクをセットする**

7 **「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックする**

「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」が再起動され、再生が始まります。

ディスクが取り出せなくなったときは

この方法でディスクを取り出す前に、『トラブルの予防と解決』第3章の「その他のトラブルがおきたとき」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

参考

パソコンの電源が入っていないと、ディスクトレイイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

1 **パソコン本体の電源を切る**

電源の切り方について
▶「電源の切り方」(p.74)

2 **太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する**

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

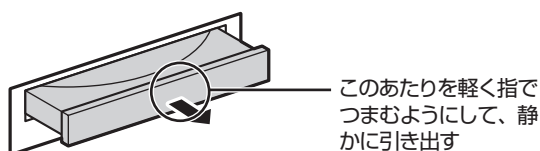
3 **正しい手順でルーフカバーを外す**

参照

ルーフカバーの外し方について
▶第5章の「本体の開け方と閉め方」(p.98)

4 **ディスクトレイの下の直径2mm程度の穴に、手順2で作った針金を差し込み、強く押し込む**

ディスクトレイが5 ～ 15mmほど飛び出します。

5 **ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す**

6 **ディスクトレイの前面を、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込む**

7 **正しい手順でルーフカバーを取り付ける**

ルーフカバーの取り付け方について
▶第5章の「本体の開け方と閉め方」(p.98)

基本編

第5章

パソコンに取り付ける

この章では、パソコンにいろいろな機器を取り付けるためのコネクタについてや、内部に新しい部品を取り付けたりする方法を説明します。
パソコン内部に部品を取り付けるときは、内部のほかの部品を傷つけたりしないよう、説明をよく読んでから作業してください。

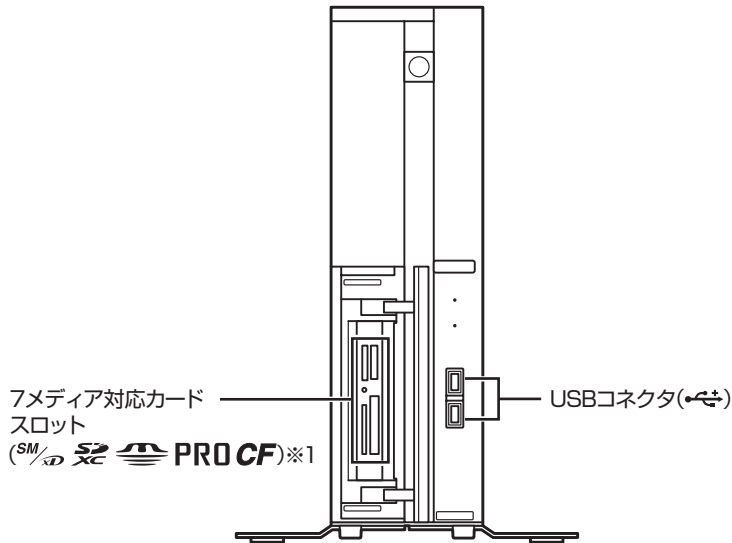
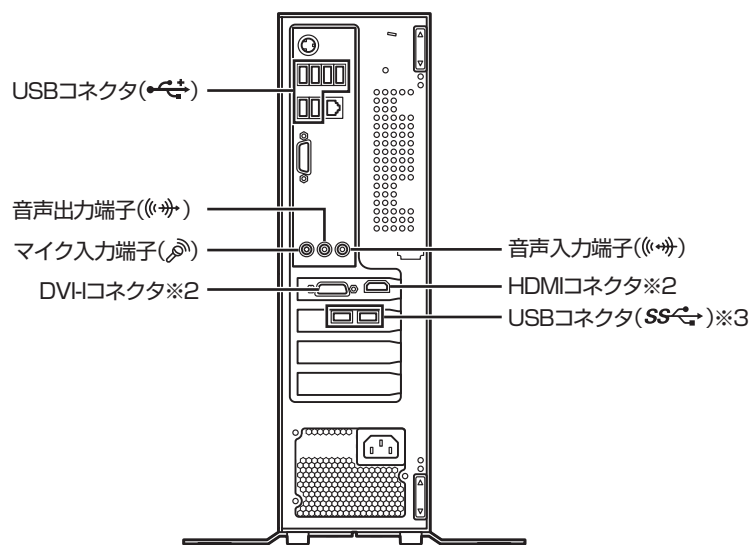
周辺機器を取り付ける

ここではこのパソコンに取り付けられる周辺機器や取り付けるためのコネクタの位置などについて説明します。具体的な取り付けの手順や注意については、各周辺機器のマニュアルや「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

取り付ける周辺機器と使用するコネクタ

取り付けられる機器	使用するコネクタ
プリンタ、イメージスキャナ、USBマウス、USBメモリーなど	USBコネクタ →「USBコネクタ」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015010 で検索
HDMI規格に対応したテレビや外部ディスプレイ※	・HDMIコネクタ →「HDMIコネクタ」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015250 で検索 ・HDMIコネクタ/DVI-Iコネクタ →「別のディスプレイと連携させる」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180080 で検索
SDメモリーカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード、コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、スマートメディアなど※	7メディア対応カードスロット →「7メディア対応カードスロット」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015120 で検索
マイクロフォン	マイク入力端子 →「マイク入力端子」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015190 で検索
ヘッドフォン、オーディオ入力のあるAV機器	音声入力端子/音声出力端子 →「音声出力/入力端子／ヘッドフォン端子」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015170 で検索

※搭載モデルのみ

本体前面

本体背面

※1：7メディア対応カードスロットモデルのみ
※2：GeForce GT 330を搭載しているモデルのみ
※3：USB 3.0対応コネクタボードを搭載しているモデルのみ

本体の開け方と閉め方

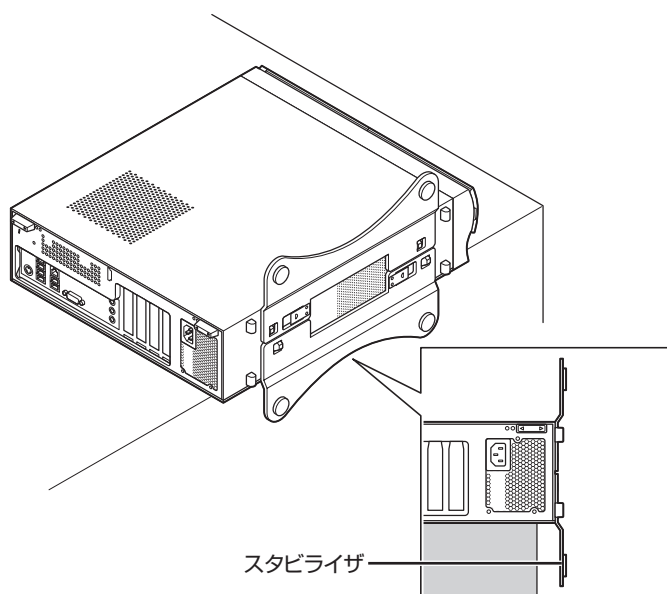
メモリを増設したり、PCIボードをパソコンに組み込むときには、本体のルーフカバー(本体をおおっているカバー)を外す作業が必要になります。

ルーフカバーの外し方

1 **本体と、プリンタなど周辺機器の電源を切る**

2 **本体の電源コードをコンセントから抜く**

3 **本体に接続されているケーブルをすべて取り外す**

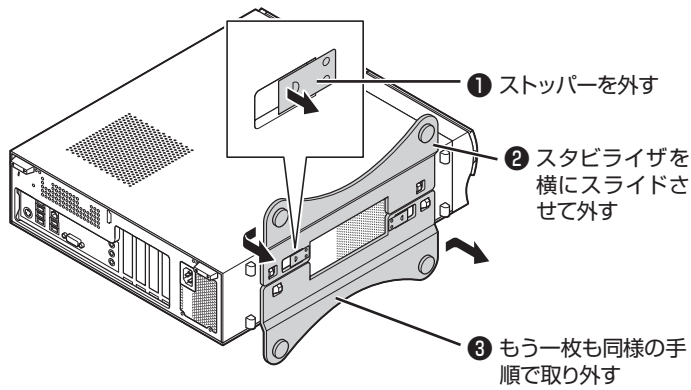
4 **本体の左側面(正面から見て左側)を上に向けて静かに横に倒し、底面のスタビライザがはみ出るように机の端などに置く**

重要

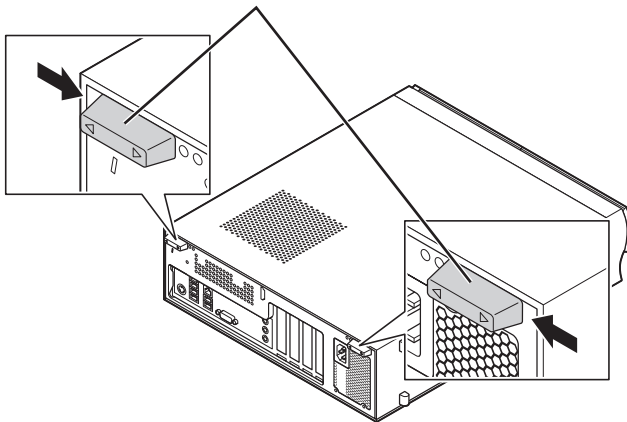
ここで取り外したケーブルは、メモリやPCIボードを増設し、ルーフカバーを取り付けた後で、もとどおりに接続することになります。外す前に、どのコネクタにどのケーブルが接続されているのかを確認しておきましょう。

参考

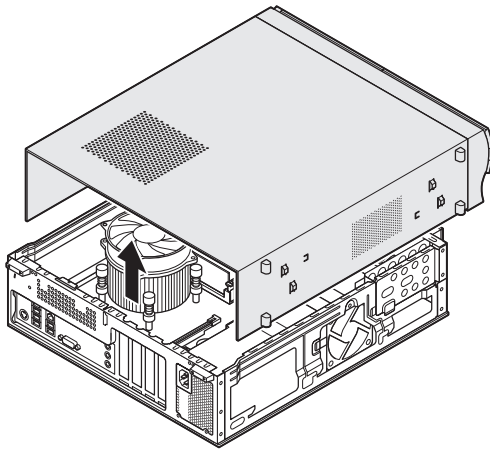
本体を横に倒すときは、本体を安定させるために、また机やテーブルなどを傷つけたりしないように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

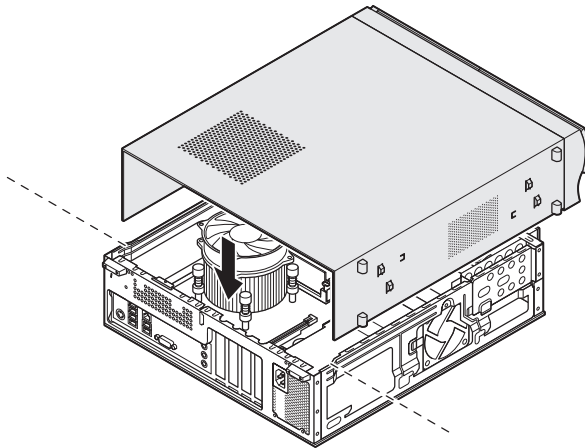
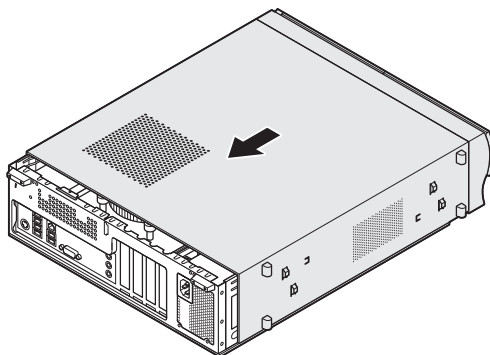
5 スタビライザを取り外す

重要

スタビライザを落下させないよう、スタビライザを手に持って取り外してください。

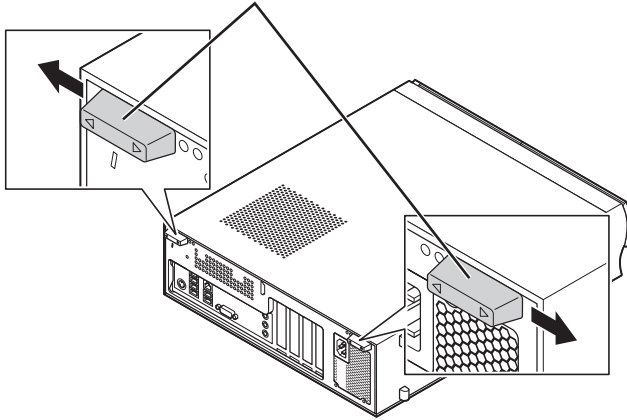
6 本体背面のレバーを内側方向にずらす

7 ルーフカバーを次の図のように少し前にずらす

ルーフカバーを取り外すときは、DVD/CDドライブのカバーを引っ張らないでください。カバーが破損することがあります。

8 **そのままゆっくり上方向に持ち上げて取り外す**

ルーフカバーの取り付け方

1 **ルーフカバーの先端を、次の図の点線の位置に合わせるようにして下ろす**

2 **ルーフカバーを本体背面側にスライドさせる**

重要

- 機器の取り付けが終わり、カバーをもとどおりに取り付けるときは、外すときと逆の順番で作業を進めてください。
- 内部のケーブルや部品を引っかけたり、はさんだりしないように気を付けてください。
- DVD/CDドライブのカバーを押したりしないでください。カバーが破損することがあります。

3 **本体背面のレバーを外側方向にずらして固定する**

4 **スタビライザをもとどおりに取り付ける**

参照

スタビライザの取り付けについて
▶第1章の「スタビライザ(台座)を取り付ける」(p.7)

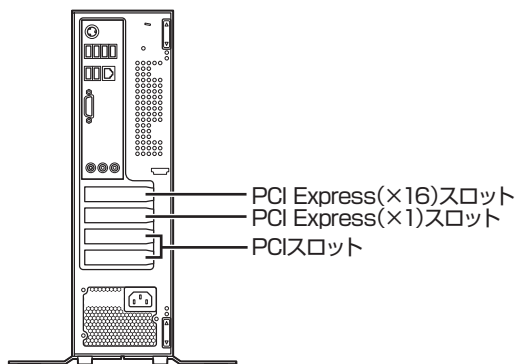
5 **「ルーフカバーの外し方」の手順2 ～ 3で取り外したケーブルをもとどおりに取り付ける**

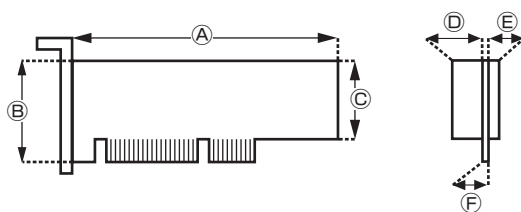
参照

ルーフカバーの外し方について
▶「ルーフカバーの外し方」(p.98)

PCIボード/PCI Expressボード

PCIスロット/PCI Expressスロットについて

このパソコンには、PCIスロットとPCI Express(×1)スロット、PCI Express(×16)スロットがあります。

PCI Expressスロット

PCI Express(×16)スロットにはハーフサイズ(Low Profile)のPCI Express(×16対応)ボードを、PCI Express(×1)スロットには、ハーフサイズ(Low Profile)のPCI Express(×1対応)ボードをそれぞれ取り付けることができます。
取り付けられるボードの寸法は次のとおりです。

●外形寸法

Ⓐ:167.7mm以下 Ⓑ:68.9mm以下 Ⓒ:56.2mm以下

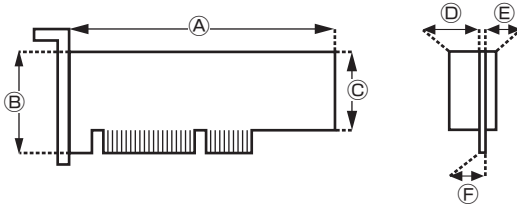
●厚さ

Ⓓ:14.5mm(表面の部品の高さ)
Ⓔ:2.7mm(裏面(ハンダ面)の部品の高さ)
Ⓕ:1.6mm(基板の厚さ)

重要

- GeForce GT 330を搭載しているモデルでは、PCI Express(×16)スロットにGeForce GT 330があらかじめ取り付けられています。
- USB 3.0対応コネクタボードを搭載しているモデルでは、PCI Express(×1)スロットにUSB 3.0対応コネクタボードがあらかじめ取り付けられています。
- フルサイズのPCIボードとPCI Express(×1対応)ボード、PCI Express(×16対応)ボードは取り付けられません。
- SSDを搭載しているモデルでは、PCIスロット下段にあらかじめSSDが取り付けられています。
- ハーフサイズ(Low Profile)のボードであっても、特殊な形状のボードは取り付けられないことがあります。

PCIスロット

PCIスロットには、ハーフサイズ(Low Profile)のPCIボードを取り付けることができます。
取り付けられるボードの寸法は次のとおりです。

●外形寸法

Ⓐ:167.7mm以下　Ⓑ:64.5mm以下　Ⓒ:56.2mm以下

●厚さ

Ⓓ:14.5mm(表面の部品の高さ)
Ⓔ:2.7mm(裏面(ハンダ面)の部品の高さ)
Ⓕ:1.6mm(基板の厚さ)

PCIボード/PCI Expressボードの取り付けと取り外し

PCIボード/PCI Expressボードの取り付け/取り外しには、プラスドライバーが必要です。あらかじめ用意しておいてください。

PCIボード/PCI Expressボードの取り付け方

注意

- **本体の金具を取り外すときは、手順にしたがってゆっくりと引き抜いてください。**
  指をぶつけたり、切ったりするおそれがあります。
- **PCIボード/PCI Expressボードを差し込むときは、強い力が必要になることがありますので指をぶつけたり、切ったりしないように、注意して作業してください。**

・ 机やテーブルを傷つけたりしないよう、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。
・ パソコン内部やPCIボード/PCI Expressボードは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で扱うと破損の原因になります。PCIボード/PCI Expressボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど、身近な金属に手を触れ、静電気を取り除いてください。

市販のPCIボード/PCI Expressボードを取り付けるときには、必ずPCIボード/PCI Expressボードに添付のマニュアルもご覧ください。

1 パソコンの電源を切る

2 アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に触れて、静電気を取り除く

重要

標準でPCIボード/PCI Expressボードが取り付けられているモデルでは、取り付けられているPCIボード/PCI Expressボードを取り外して別のPCIボード/PCI Expressボードを取り付けた場合は、サポートの対象外になります。

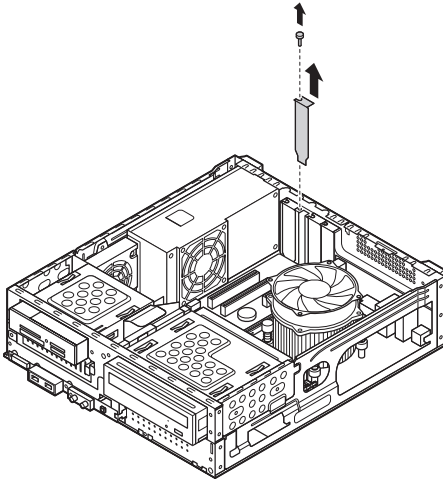
3 **正しい手順で本体のルーフカバーを外す**

参照

ルーフカバーの取り外し方について
▶「本体の開け方と閉め方」(p.98)

重要

電源コードやディスプレイのケーブルなど、本体に接続されているケーブルは本体からすべて取り外してください。

4 **空いているスロットのネジを外し、スロットカバーを取り外す**

5 **PCIボード/PCI Expressボードをスロットに差し込み、外したネジで取り付ける**

参考

スロットカバーは、ここで取り付けたボードを取り外さないかぎり、不要になりますが、なくさないように大切に保管してください。

重要

PCIボード/PCI Expressボードを持つときは、ボード上の部品やツメ(端子)部品に触れないように注意してください。

PCI Express(×16)ボードを取り付ける場合には、抜け防止ロック機構をスライドさせて、ボードを固定してください。

重要
抜け防止ロック機構で固定できないボードもあります。

6 正しい手順で本体のルーフカバーを取り付ける

ルーフカバーの取り付け方について
▶「本体の開け方と閉め方」(p.98)

PCIボード/PCI Expressボードの取り外し方

PCIボード/PCI Expressボードの取り外し方は、PCIボード/PCI Expressボードの取り付け手順と逆の手順でおこなってください。

⚠注意

標準で取り付けられているPCI Express(×16)ボードは、抜け防止ロック機構でスロットに固定されている場合があります。無理に取り外そうとすると、本体またはPCI Express(×16)ボードの破損の原因になります。

メモリ

より大きな容量のメモリをパソコンの内部に取り付けることで、ソフトを同時に起動したり、大きなデータを扱う際、より高速に処理することができるようになります。

参考
このパソコンでは最大16Gバイトまたは8Gバイトのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。また、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

メモリを増やす流れ

●増設の準備

▶メモリ容量を確認する(このページ)
▶メモリスロットを確認する(次ページ)
▶このパソコンで使えるメモリ(p.109)

●増設メモリ(別売)を購入

●増設メモリの取り付け

▶メモリを取り扱うときのご注意(p.109)
▶メモリを取り外す(p.109)
▶メモリを取り付ける(p.113)

●メモリが増えているか確認

▶増やしたメモリ容量を確認する(p.114)

メモリ容量を確認する

次の手順でお使いのモデルのメモリ容量を確認できます。メモリをどれぐらい増やせるかの参考にしてください。

参考
メモリ容量は実際より少なく表示される場合がありますが、故障ではありません。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「システム」をクリックする

表示された画面の「実装メモリ(RAM)」を確認してください。

メモリスロットを確認する

このパソコンのメモリスロットは、PC-VL750CSおよびVALUESTAR GタイプL(s)に4つ、PC-VL350CS、PC-VL150CSおよびVALUESTAR GタイプL(e)に2つ用意されています。ここではメモリスロットが4つ用意されているPC-VL750CSおよびVALUESTAR GタイプL(s)の場合で説明します。

●このパソコンのメモリスロットについて

このパソコンはデュアルチャネルに対応しています。
次の図に示すとおりチャネルAとチャネルBの組み合わせでデュアルチャネルとして動作します。

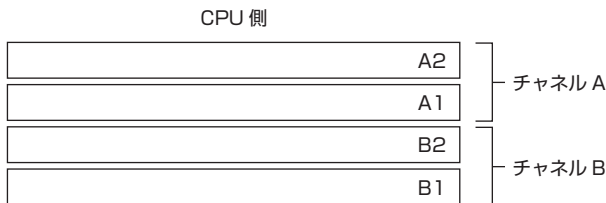
CPU 側

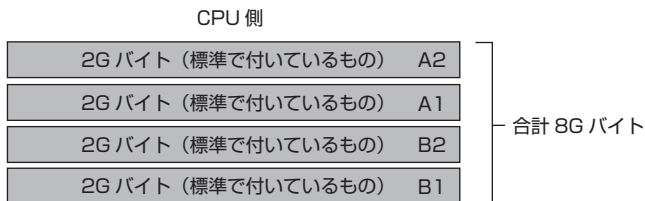
スロット	チャネル
A2	チャネル A
A1	チャネル A
B2	チャネル B
B1	チャネル B

参考

デュアルチャネルとは、同容量の2枚のメモリに同時にアクセスすることで、メモリのデータ転送性能を高速化する技術のことです。

重要

- メモリを取り付ける際のメモリスロットの優先順位はA1→B1→A2→B2です。
- PC-VL350CS、PC-VL150CSおよびVALUESTAR GタイプL(e)にはA2、B2のスロットはありません。

●メモリスロットへの取り付けについて

ここでは、ご購入時に2Gバイトのメモリが4枚取り付けられている場合を例として、増設メモリをメモリスロットへ取り付ける手順を説明します。

この場合、ご購入時に付いているメモリを取り外してスロットを空け、より大きな容量の増設メモリを取り付けなおすことでメモリを増やします。

例:メモリを16Gバイト(最大)に増やす場合

4Gバイトのメモリを各スロットに取り付けます。

重要

- デュアルチャネルメモリの性能を最大限に引き出すために、それぞれのチャネルに同容量のメモリを搭載する必要があります。チャネルごとに異なる容量のメモリを搭載している場合でも動作しますが、一部のソフトでは十分な性能が出ない場合があるため、動作保証しておりません。増設時は、それぞれのチャネルが同容量になるように増設することをおすすめします。
- 最大16Gバイトの容量までメモリを搭載した場合、8Gバイトずつのデュアルチャネルで動作します。

このパソコンで使えるメモリ

次のタイプの増設メモリ(別売)をおすすめします。

型　名	メモリ容量
PC-AC-ME049C	4Gバイト
PC-AC-ME051C	2Gバイト

(DDR3 SDRAM/DIMM、PC3-10600タイプ)

重要

・ 左のタイプ以外の増設メモリには、このパソコンで使えないものがあります。ご購入前に確認してください。
・ NECでは市販の増設メモリに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。

メモリを取り扱うときのご注意

・ メモリは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で扱うと破損する原因になりますので、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に触れて静電気を取り除いてください。
・ メモリは、大変壊れやすい部品です。メモリを取り外した際は、大切に保管してください。再セットアップをおこなうときに必要となる場合があります。

メモリを取り外す

1 本体のルーフカバーを外す

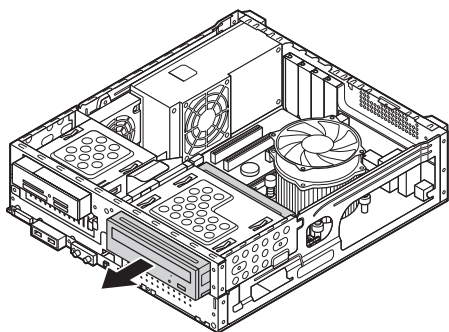
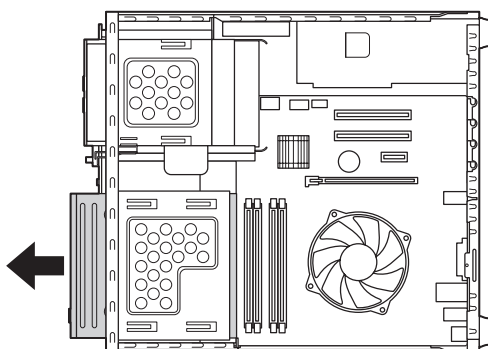
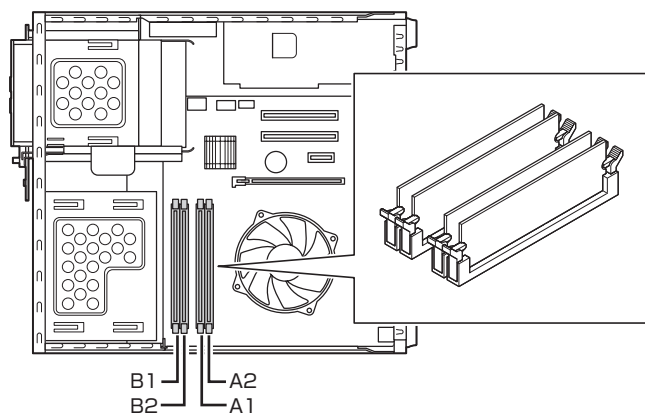
参照

ルーフカバーの取り外し方について
▶「本体の開け方と閉め方」(p.98)

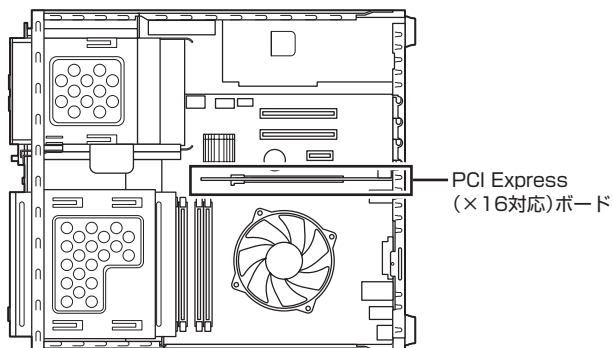
2 次の図の位置のネジを外す

参考

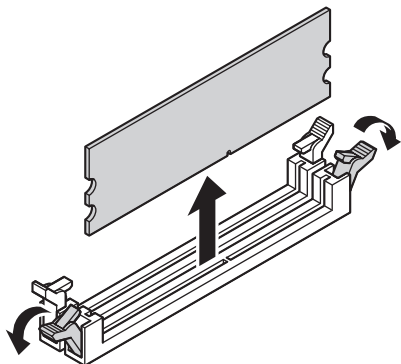
イラストは実際の製品と異なることがあります。

3 DVD/CDドライブを本体前面側にスライドさせる

次の図を参考に、メモリスロットが上から見える位置までスライドさせてください。

4 メモリスロットの位置を確認する

5 **A1またはA2のメモリスロットからメモリを取り外すときには、PCI Express（×16対応）ボードを取り外す(PCI Express(×16対応)ボードが取り付けられている場合のみ)**

PCI Expressボードの取り外し方について

▶「PCIボード/PCI Expressボードの取り付けと取り外し」(p.104)

6 **メモリスロットの両側のフックを外側に開き、メモリを引き抜く**

メモリはゆっくりと垂直に引き抜いてください。

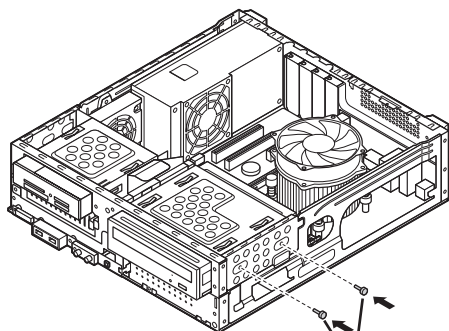
フックを開きすぎて破損しないように気を付けてください。

7 **メモリを取り外すときにPCI Express（×16対応）ボードを取り外した場合にはもとどおりに取り付ける**

PCI Expressボードの取り付け方について

▶「PCIボード/PCI Expressボードの取り付けと取り外し」(p.104)

8 DVD/CDドライブを本体背面側にスライドさせる

DVDドライブ側面のネジ穴が見える位置までスライドさせてください。

9 次の図の位置で、外したネジ2本を取り付ける

10 本体のルーフカバーを取り付ける

ルーフカバーの取り付け方について
▶「本体の開け方と閉め方」(p.98)

メモリを取り付ける

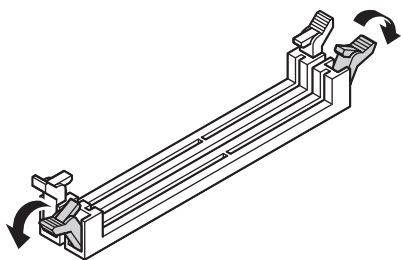
⚠ 注意

メモリを差し込むときは、強い力が必要になることがありますので指をぶつけたり、切ったりしないように、注意して作業してください。

 参考

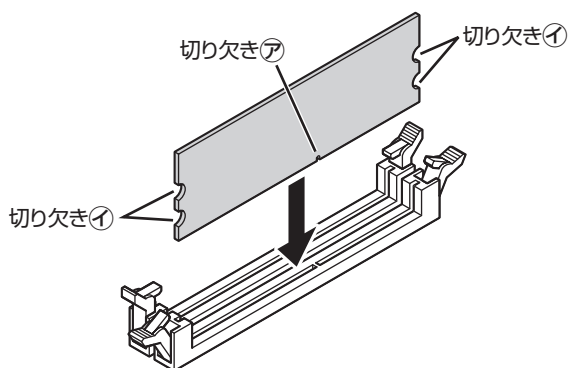
イラストは実際の製品と異なることがあります。

1 「メモリを取り外す」の手順1 ～ 5をおこない、メモリスロットを確認して取り付けができるようにする

2 メモリスロットの両側のフックを外側に開く

3 メモリとメモリスロットのミゾを合わせる

メモリの端子部分の切り欠きとメモリスロットのミゾの区切れ目を合わせ、垂直に軽く差し込んでください。

重要

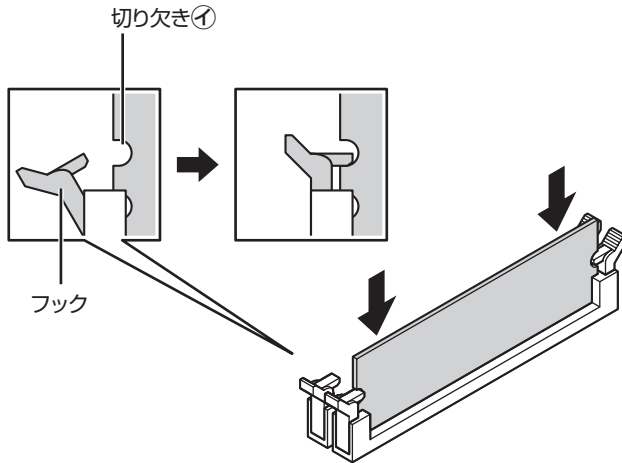
- メモリの端子部分の切り欠きとメモリスロットのミゾの区切れ目が合っていないと差し込むことができません。無理に取り付けようとすると、メモリスロットやメモリが破損する原因になりますので注意してください。
- メモリの金属端子部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因になります。

4 メモリをメモリスロットに奥まで差し込む

そのまま垂直方向に力を加え押し込んでください。

重要

しっかり差し込んでおかないと、故障の原因になります。

5 **メモリがメモリスロットにロックされたことを確認する**

正しくロックされている場合は、メモリスロット両側のフックがメモリの切り欠きにかかっています。フックがかかっていない場合には、指でフックを切り欠きに引っかけてください。

6 **「メモリを取り外す」の手順7 ～ 10をおこなう**

増やしたメモリ容量を確認する

パソコンの電源を入れ、メモリを増やす前に確認したときと同様の手順で、メモリ容量が増えているか確認できます。

●表示されたメモリ容量が増えていなかった場合

次のことを確認してください。

・ 正しく取り付けられているか？

・ このパソコンで使えるメモリを取り付けているか？

重要

指でロックさせる場合には、強い力は不要です。うまくロックできないときは、無理に押し込まずに、メモリを差しなおしてください。

参照

メモリ容量を確認する

▶「メモリ容量を確認する」(p.107)

重要

メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

参考

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けたメモリの総容量より少ない値になります。

基本編

第6章

おすすめ機能

この章では、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、説明を読んでパソコンをさらに使いこなしてみましょう。

複数のパソコンを使う

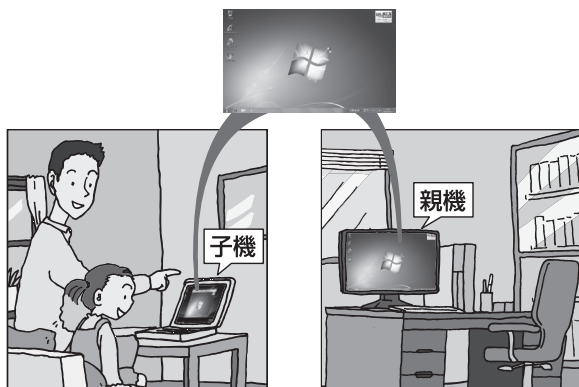
このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作ってほかのパソコンやオーディオ機器にある写真、映像、音楽を視聴する機能など、このパソコンをほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。

ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。詳しい内容については、各マニュアルをご覧ください。

参照
→「複数台利用でできること」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090010 で検索

機能	使用するソフト	機能の説明
パソコンを遠隔操作する(次ページ)	「Luiリモートスクリーン(親機版)」 「Luiリモートスクリーン(子機版)」	自宅のパソコンを、別の部屋にあるパソコンから遠隔操作したり、外出先からインターネット経由で利用したりできます。
データや設定を移行する	「ファイナルパソコンデータ引越し」	パソコンのデータや設定などをまとめて一度に、このパソコンへ移行します。
データを同期・共有する	「FlyFolder」	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
写真、映像、音楽コンテンツをやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	DLNAに対応したほかのパソコンとの間で写真、映像、音楽コンテンツなどを相互に視聴することができます。

パソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）

Luiリモートスクリーンを使うと、家庭内のネットワークやインターネットに接続した2台のパソコンで、自宅内はもちろん、自宅外からも、一方のパソコンから他方のパソコンを操作できるようになります。

※親機の画面が子機に表示され、子機側で親機の画面を操作できます。

利用するためには、ソフトのインストールや接続の設定が必要になります。機能の説明について詳しくは、デスクトップにある（「Luiリモートスクリーンのご紹介」アイコン）をダブルクリックして、表示される説明をご覧ください。
デスクトップにアイコンがない場合には、「ソフト＆サポートナビゲーター」からもご覧いただけます。「ほかのパソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090020で検索）をご覧ください。

また使い方については、次のマニュアルも参照してください。

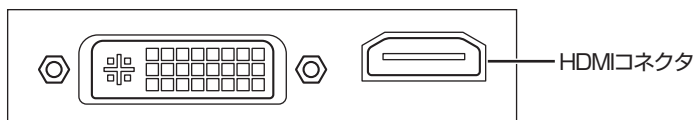
- **家の中だけで使いたいときの設定方法**
  →「Luiかんたんスタートマニュアル」
- **モバイル通信などを利用して、家の外からも接続するときの設定方法**
  →「Luiリモートスクリーンマニュアル」

参照

→「Luiかんたんスタートマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiかんたんスタートマニュアル」
→「Luiリモートスクリーンマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーンマニュアル」

HDMIコネクタ(外部出力)

GeForce GT 330を搭載したモデルの場合

本体背面にあるHDMIコネクタ(出力)に、HDMI規格に準拠した液晶テレビなどを接続して、液晶テレビにパソコンの画面を表示できます。

F23W2AおよびF23W1A(W)の場合

液晶ディスプレイセットモデルのF23W2AおよびF23W1A(W)では、HDMIコネクタ(入力)にHDMI規格に準拠したAV機器、ゲーム機およびパソコンなどを接続して、映像をディスプレイに表示できます。

パソコン接続時の対応映像方式/解像度/音声入力

映像方式	1080p/720p
解像度	1920×1080、1280×1024、1280×720、1024×768、800×600
音声入力	2chリニアPCM(32kHz / 44.1kHz / 48kHz)

AV機器、ゲーム機接続時の対応映像方式/音声入力

●F23W2A

映像方式	1080p/1080i/720p/480p
音声入力	2chリニアPCM(32kHz/44.1kHz / 48kHz)

●F23W1A(W)

映像方式	1080p/1080i/720p/480p/480i
音声入力	2chリニアPCM(32kHz / 44.1kHz / 48kHz)

重要

- すべてのHDMI規格に準拠した機器との動作を保証するものではありません。
- 3Dに対応した市販のテレビやディスプレイと接続した場合の3Dコンテンツの再生を保証するものではありません。
- HDMIケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。
- DVI-IコネクタとHDMIコネクタは同時に使用することができます。2台のディスプレイを接続することで、表示するディスプレイを切り換えたり、2台のディスプレイを合わせて1つの大きな画面として使うことができます。詳しくは、「別のディスプレイと連携させる」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180080 で検索)をご覧ください。

参照

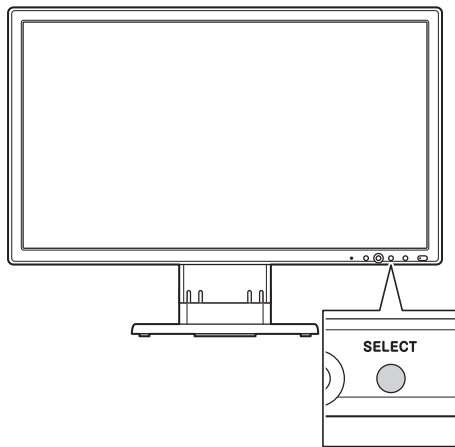
HDMIコネクタの接続方法について
→「HDMIコネクタ」
▶液晶テレビのマニュアルまたは「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015250 で検索

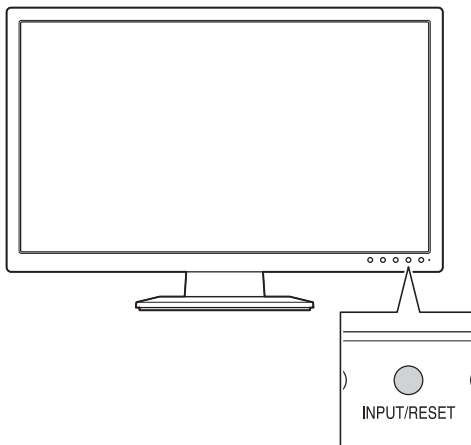
参考

ブルーレイディスクが再生できるモデルでは、市販されている映画のように著作権保護されたブルーレイディスクの映像を外部ディスプレイやテレビに表示するには、HDMIコネクタを使用する必要があります。

HDMI入力とほかの入力の切り換えについて

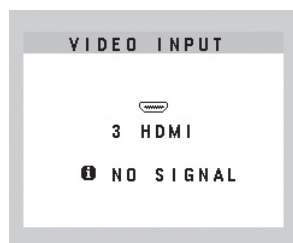
●F23W2Aの場合

OSDが表示されていない状態でSELECTボタンを押してください。HDMIコネクタに信号が入力されていない場合は、SELECTボタンを押してもHDMI入力に切り換えできません。

●F23W1A(W)の場合

OSDが表示されていない状態でINPUT/RESETボタンを押してください。DVI入力とD-sub入力は、片方の映像信号がなくなると、自動でもう片方に切り換わります。

参考

OSDとはオンスクリーンディスプレイの略で、パソコンやディスプレイなどを設定するときに、OSとは別でディスプレイ上に表示される操作画面のことです。

●省電力機能について

HDMI入力使用時に映像信号がない場合は、省電力機能は働きません。この場合は「HDMI NO SIGNAL」のOSDが表示され、規則的にOSDの表示が焼き付き防止のために動き回ります(ディスプレイの電源ランプは緑色に点灯)。

OSDの表示内容は、モデルによって異なります。

付　録

お手入れについて

準備するもの

軽い汚れのとき

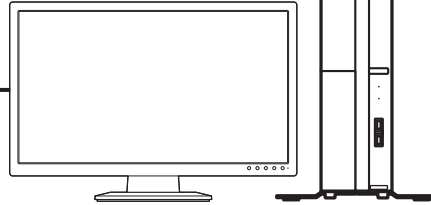
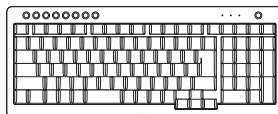
乾いたきれいな布

汚れがひどいとき

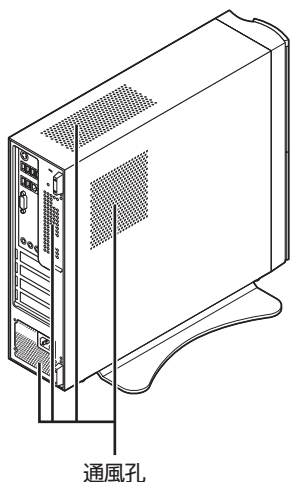
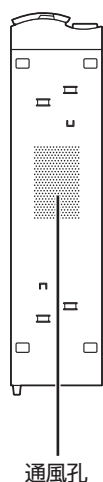
水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

- シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- 水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウスの汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
- 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- お手入れの前に第4章の「電源の切り方」(p.74)の手順で電源を切ってください。電源コードはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

※イラストは、モデルによって異なります。

通風孔のお手入れについて

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

お手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

種類	内容説明	該当品または部品（代表例）
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。	フロッピーディスク、CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、SDメモリーカード、メモリースティック、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、ハードディスクドライブ、DVD/CDドライブ、キーボード、マウス、ファン

※ 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは、「仕様一覧」または『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」をご覧ください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について

▶『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」

付録

消耗品や有寿命部品に関するご注意

・ 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
・ 本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。
買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/support/recyclesel/

パソコンを譲渡する際のご注意

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

参照

このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

このパソコンを譲渡するには

重要

第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

参照

お客様登録の方法について
▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の左側面にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

廃棄時の詳細について
NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」(http://121ware.com/support/recyclesel/)

廃棄についてのお問い合わせ
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)
フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)(通話料金はお客様負担になります)
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は添付の『トラブルの予防と解決』をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/

※ 本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。

このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去ができます。
「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

重要

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。
(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_HDDdata100219F.pdf)

参照

再セットアップディスクによるハードディスクの消去について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

重要

ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

仕様一覧

本体仕様一覧

VALUESTAR Gシリーズの本体仕様一覧については、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」をご覧ください。

●VL750/CS、VL350/CS、VL150/CS

型名				VL750/CS	VL350/CS	VL150/CS
型番				PC-VL750CS	PC-VL350CS	PC-VL150CS
インストールOS・サポートOS				Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版※1※2		
CPU				インテル® Core™ i7-870 プロセッサー	インテル® Core™ i5-650 プロセッサー	インテル® Core™ i3-550 プロセッサー
	動作周波数			2.93GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大3.60GHz)	3.20GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大3.46GHz)	3.20GHz
	コア数/スレッド数			4コア/ 8スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)	2コア/ 4スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)	
	キャッシュメモリ			8MB(3次キャッシュ)	4MB(3次キャッシュ)	
バスクロック	システムバス			2.5GT/s DMI※3		
	メモリバス			1333MHz		
チップセット				インテル® H55 Express チップセット		
メインメモリ※4※5※7※8	標準容量/最大容量			8GB(DDR3 SDRAM/DIMM 2GB×4、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応)/ 16GB※12※14	4GB(DDR3 SDRAM/DIMM 2GB×2、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応)※11 / 8GB※13	2GB(DDR3 SDRAM/DIMM 2GB×1、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応可能)※11 / 8GB※13
	スロット数			DIMMスロット×4[空き:0]	DIMMスロット×2[空き:0]	DIMMスロット×2[空き:1]
表示機能	標準ディスプレイ[型番](詳細は別表(p.134)をご覧ください)			23型ワイド(120Hz駆動式3D※16)(スーパーシャインビュー EX2液晶)(Full HD)(NVIDIA® 3D Vision™対応)[F23W2A]	23型ワイド(スーパーシャインビュー EX液晶)(Full HD)[F23W1A(W)]	19型ワイド(スーパーシャインビュー EX液晶)[F19W1A(S)]
		表示寸法(アクティブ表示エリア)		509(W)×286(H)mm	510(W)×287(H)mm	408(W)×255(H)mm
		画素ピッチ		0.265mm	0.266mm	0.284mm
		LCDドット抜けの割合※15		0.00020%以下		0.00018%以下
	表示色(解像度)	標準ディスプレイ		最大約1677万色※18(1920×1080ドット、1280×1024ドット※19、1280×768ドット※19、1024×768ドット※19、800×600ドット※19)	最大約1670万色※18(1920×1080ドット、1280×1024ドット※19、1280×768ドット※19、1024×768ドット※19、800×600ドット※19)	最大約1670万色※18(1440×900ドット、1280×768ドット※19、1024×768ドット※19、800×600ドット※19)
		本機のサポートする表示モード※20	デジタルディスプレイ	最大1677万色(1920×1080ドット、1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
			HDMI接続時	最大1677万色(1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×768ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット)※21、対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p	−	
	グラフィックアクセラレータ			NVIDIA® GeForce® GT 330	インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)	
	グラフィックスメモリ※22			最大4095MB※9※10	最大1696MB※6	
ドライブ	ハードディスクドライブ※23			約1TB(Serial ATA、高速7200回転/分)		約500GB(Serial ATA、高速7200回転/分)
	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.133)をご覧ください)			ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※24	DVDスーパーマルチドライブ[DVD-R/+R 2層書込み]	
サウンド機能	スピーカ			添付の液晶ディスプレイに内蔵(ステレオ(3W+3W))	添付の液晶ディスプレイに内蔵(ステレオ(2W+2W))	添付の液晶ディスプレイに内蔵(ステレオ(1W+1W))
	音源/サラウンド機能			インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※25)		
	サウンドチップ			RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN			1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		

型名			VL750/CS	VL350/CS	VL150/CS
拡張スロット			PCI Express x16スロット※26（ロープロファイル）×1[空き:0]、PCI Express x1スロット（ロープロファイル）×1[空き:0]、PCIスロット（ロープロファイル）×2[空き:2]	PCI Express x16スロット※26（ロープロファイル）×1[空き:1]、PCI Express x1スロット（ロープロファイル）×1[空き:1]、PCIスロット（ロープロファイル）×2[空き:2]	
ベイ			5型ベイ:1スロット（BD/DVD/CDドライブで占有済）[空き:0]、内蔵3.5型ベイ:1スロット（ハードディスクドライブで占有済）[空き:0]		
入力装置	キーボード		PS/2小型キーボード（109キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン、マイ チョイスボタン、ECOボタン、ズームボタン付き）		
	マウス		USBレーザーマウス（横スクロール機能付き※27）		光センサー USBマウス
外部インターフェイス	USB※29		USB 3.0×2※28、USB 2.0×8	USB 2.0×8	
	ディスプレイ		DVI-I（29ピン、HDCP対応※30、デュアルリンク対応）×1※31※32、HDMI出力端子×1※17※21	DVI-D（24ピン、HDCP対応※30、シングルリンク対応）×1※31	
	PS/2		ミニDIN6ピン×1※33		
	LAN		RJ45×1		
	サウンド関連	マイク入力※35	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 100mVrms（マイクブースト有効時は5mVrms）、バイアス電圧 2.5V]		
		ヘッドフォン出力	ライン出力と共用[ヘッドフォン出力インピーダンス 16～100Ω（推奨32Ω）※36]		
		ライン入力	ステレオミニジャック×1（入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 1Vrms）		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1※34（出力インピーダンス 22kΩ、出力レベル 1Vrms）		
	カードスロット	メモリーカード	7メディア対応カードスロット×1※37[SDメモリーカード（SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード）※38※39、メモリースティック（メモリースティック PRO、メモリースティック PRO-HG デュオ）※40、xD-ピクチャーカード※41、スマートメディア※42、コンパクトフラッシュ、マルチメディアカード※43、マイクロドライブ※44]		－
外形寸法	本体（突起部除く）		98（W）×401（D）×343（H）mm※45 220（W）×401（D）×343（H）mm（スタビライザ設置時） 標準添付ディスプレイの寸法は別表（p.134）をご覧ください		
	キーボード		392（W）×154（D）×32（H）mm		
質量	本体		約9.4kg	約8.9kg	約8.8kg
	キーボード／マウス／ 3Dメガネ		約750g ／約100g ／約51g	約750g ／約100g ／－	約750g ／約95g ／－
電源			AC100V±10%、50/60Hz		
消費電力	標準／最大／スリープ状態時		約49W ／約260W ／約4W	約37W ／約180W ／約3W	約35W ／約176W ／約3W
電波障害対策			VCCI ClassB		
温湿度条件			10～35℃、20～80%（ただし結露しないこと）		
主なソフトウェア			Microsoft® Office Home and Business 2010※46		Microsoft® Office Personal 2010※46
主な添付品			マニュアル、電源コード、NVIDIA® 3D Vision™キット※47	マニュアル、電源コード	

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※　1：日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。
※　2：ネットワークでドメインに参加する機能はありません。
※　3：DMIはDirect Media Interfaceの略です。
※　4：増設メモリは、PC-AC-ME049C（4GB、PC3-10600）、PC-AC-ME051C（2GB、PC3-10600）を推奨します。
※　5：他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※　6：グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※　7：実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※　8：メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。
※　9：グラフィックスメモリは、専用グラフィックスメモリとメインメモリの一部の両方を使用します。
※ 10：グラフィックボード上に1024MB搭載。
※ 11：メモリ増設した場合、容量が異なるメモリを増設すると、少ないメモリに合わせた容量までデュアルチャネル動作となり、容量差分がシングルチャネル動作となります。
※ 12：最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ（4GB）を4枚実装する必要があります。
※ 13：最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ（4GB）を2枚実装する必要があります。
※ 14：4つのメモリスロットにメモリ3枚を搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 15：ISO13406-2の基準にしたがって、副画素（サブピクセル）単位で計算しています。
※ 16：NVIDIA® 3D Vision™を利用する場合に有効になります。
※ 17：本機で著作権保護されたコンテンツを再生し、HDMI出力端子に接続した機器に表示する場合、接続する機器はHDCP規格に対応している必要があります。HDCP規格に非対応の機器を接続した場合は、コンテンツの再生または表示ができません。HDMIのCEC（Consumer Electronics Control）には対応しておりません。HDMIケーブルは長さ1.5m以下を推奨します。ご使用の環境によっては、リフレッシュレートを60Hz（プログレッシブ）に変更するか、解像度を低くしないと、描画性能が上がらない場合があります。すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVでの動作確認はしておりません。HDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVによっては正しく表示されない場合があります。
※ 18：本体添付ディスプレイのフレームレートコントロールにより実現。
※ 19：最高解像度以外の解像度ではアスペクト比（画面縦横比）を保つために画面の左右または上下左右が黒表示となる場合があります。擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
※ 20：グラフィックアクセラレータのサポートする表示モードです。実際に表示できるモードは接続するディスプレイにより異なります。なお、1920×1080ドットと1680×1050ドットと1440×900ドットの解像度についてはNEC製ワイドディスプレイでのみ動作検証を行っております。

※ 21： HDMI端子経由では、NVIDIA® 3D Vision™に対応していません。
※ 22： パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 23： 1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。
※ 24： ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※ 25： 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 26： 抜け防止ロック機構付き。
※ 27： 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 28： 接続したUSB 3.0対応機器の転送速度は最大2.5Gbps（理論値）になります。また、接続したUSB 2.0対応機器の転送速度は最大480Mbps（理論値）となります。
※ 29： USBポートの電源供給能力は、USB 3.0の場合、1ポートあたりの動作時が最大900mA、USB 2.0の場合、1ポートあたりの動作時が最大500mA、スリープ時は数十mA程度です。これ以上の電流を消費するバスパワードのUSB機器は電源の寿命を低下させるおそれがありますので接続しないでください。
※ 30： HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本製品のDVIは、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているパーソナルコンピュータからのデジタルコンテンツを表示することができます。ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、本製品が故障していなくても、DVIの映像が表示されないことがあります。
※ 31： 本機のDVI端子は添付のディスプレイのみ動作確認を行っております。
※ 32： I/Oプレート部に搭載されているDVI-Dコネクタはご利用できません。
※ 33： 本機のPS/2端子は添付のキーボードのみ動作確認を行っております。
※ 34： ディスプレイに添付のオーディオケーブルを接続します。
※ 35： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 36： 周波数特性や、出力電力を保証するものではありません。
※ 37： すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 38： 「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」は、著作権保護機能（CPRM）に対応しています。
「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 39： 「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」の高速転送規格「UHS-I」には対応しておりません。
「SDXCメモリーカード」の動作確認済み機器に関しましてはホームページ（http://121ware.com/catalog/taioukiki/）をご覧ください。
※ 40： 「メモリースティック デュオ」をご使用の場合には、「メモリースティック デュオ」アダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」（M2）をご使用の場合には、「メモリースティック マイクロ」（M2）スタンダードサイズアダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」（M2）→「メモリースティック マイクロ」（M2）デュオサイズアダプター→「メモリースティック デュオ」アダプターの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ」（M2）の取扱説明書をご覧ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し／書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能（マジックゲート）には対応しておりません。
※ 41： xD-ピクチャーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
※ 42： 3.3Vタイプ（または3Vと表示されているタイプ）のみ使用できます。5Vタイプのカードはご使用できません。
※ 43： Keitaide-Music機能（UDAC-MBプロトコル）には対応しておりませんので、著作権保護機能のある音楽データは取り扱いできません。
※ 44： ほかのメディアと同時に使用することはできません。
※ 45： 本機を横置きにしてのご使用はサポートしておりません。
※ 46： 本製品はマニュアルを添付しております。
※ 47： NVIDIA® 3D Vision™キットには、3Dメガネ（アクティブシャッター方式）、調整可能なノーズピース（2種類）、保管用ポーチ、クリーニング布、赤外線（IR）エミッタ、USBケーブル（1.8mと3mの2本）が付属されています。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※2	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き)[DVD-R/+R 2層書込み]※2
読出し	CD-ROM※3	最大40倍速	最大40倍速
	CD-R	最大40倍速	最大40倍速
	CD-RW	最大40倍速	最大40倍速
	DVD-ROM	最大16倍速	最大16倍速
	DVD-R	最大16倍速	最大10倍速
	DVD+R	最大16倍速	最大10倍速
	DVD-RW	最大10倍速	最大8倍速
	DVD+RW	最大10倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※9	最大5倍速	最大12倍速
	DVD-R (2層)※6	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速	最大8倍速
	BD-ROM	最大8倍速	—
	BD-R (1層)※12	最大8倍速	—
	BD-R (2層)※12	最大8倍速	—
	BD-RE (1層)	最大6倍速	—
	BD-RE (2層)	最大6倍速	—
書込み/書換え	CD-R	最大40倍速	最大40倍速
	CD-RW※4	最大10倍速	最大10倍速
	DVD-R※5	最大16倍速	最大16倍速
	DVD+R	最大16倍速	最大16倍速
	DVD-RW※8	最大6倍速	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※9	最大5倍速※10	最大12倍速※11
	DVD-R (2層)※7	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速	最大8倍速
	BD-R (1層)※12	最大6倍速	—
	BD-R (2層)※12	最大6倍速	—
	BD-RE (1層)※13	最大2倍速	—
	BD-RE (2層)※13	最大2倍速	—

※　1：使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※　2：8cmディスクはご使用になれません。
※　3：Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※　4：Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※　5：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※　6：追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※　7：DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※　8：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※　9：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※ 10：DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 11：DVD-RAM12倍速書込みには、DVD-RAM12倍速書込み対応したDVD-RAMディスクが必要です。
※ 12：BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※ 13：BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

ディスプレイ仕様一覧

ディスプレイ型番		F23W2A	F23W1A(W)	F19W1A(S)
画面サイズ		23型ワイド(120Hz駆動式3D※5)(スーパーシャインビュー EX2液晶)(Full HD)(NVIDIA® 3D Vision™対応)	23型ワイド(スーパーシャインビュー EX液晶)(Full HD)	19型ワイド(スーパーシャインビュー EX液晶)
添付機種型番		PC-VL750CS	PC-VL350CS	PC-VL150CS
表示寸法(アクティブ表示エリア)		509(W)×286(H)mm	510(W)×287(H)mm	408(W)×255(H)mm
画素ピッチ		0.265mm	0.266mm	0.284mm
表示色		最大約1677万色	最大約1670万色	
表示解像度	デジタル(DVI-D)接続時およびアナログ(D-Sub)接続時	1920×1080ドット、1680×1050ドット※1、1440×900ドット※1、1280×1024ドット※1、1280×768ドット※1、1024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1		1440×900ドット、1280×768ドット※1、1024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1
	別売り機器HDMI接続時(サポート可能な解像度)	1920×1080ドット、1680×1050ドット※1、1440×900ドット※1、1280×1024ドット※1、1280×768ドット※1、1280×720ドット※1、1024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p	1920×1080ドット、1680×1050ドット※1、1440×900ドット※1、1280×1024ドット※1、1280×768ドット※1、1280×720ドット※1、1024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p/480i	−
インターフェイス		DVI-D(HDCP対応※2、デュアルリンク対応)、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1、HDMI入力端子×1※4	DVI-D(HDCP対応※2、シングルリンク対応)、ミニD-sub15ピン、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1、HDMI入力端子×1	DVI-D(HDCP対応※2、シングルリンク対応)、ミニD-sub15ピン、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1
消費電力		約64W	約55W	約42W
外形寸法		550(W)×240(D)×368～418(H)mm	546(W)×222(D)×379(H)mm	440(W)×210(D)×361(H)mm
質量		約6.8kg	約5.6kg	約4.9kg
LCDドット抜けの割合※3		0.00020%以下		0.00018%以下
備考		ステレオスピーカ(3W+3W)	ステレオスピーカ(2W+2W)	ステレオスピーカ(1W+1W)

※　1:最高解像度以外の解像度ではアスペクト比(画面縦横比)を保つために画面の左右または上下左右が黒表示となる場合があります。擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。

※　2:HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本製品のDVIは、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているパーソナルコンピュータからのデジタルコンテンツを表示することができます。ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、本製品が故障していなくても、DVIの映像が表示されないことがあります。

※　3:ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。

※　4:HDMI端子経由では、NVIDIA® 3D Vision™に対応していません。

※　5:NVIDIA® 3D Vision™を利用する場合に有効になります。

LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※ リピータの台数など、条件によって異なります。

索 引

数字

アルファベット

A

B

C

D

E

F

H

L

M

O

P

W

かな

あ

か

さ

ローマ字変換表

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
A	KA	SA	TA	NA	HA	MA	YA	RA	WA	GA	ZA	DA	BA	PA
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ぢ	び	ぴ
I	KI	SI・SHI	TI・CHI	NI	HI	MI	YU	RI	WO	GI	ZI・JI	DI	BI	PI
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
U	KU	SU	TU・TSU	NU	HU・FU	MU	YO	RU	NN	GU	ZU	DU	BU	PU
え	け	せ	て	ね	へ	め		れ		げ	ぜ	で	べ	ぺ
E	KE	SE	TE	NE	HE	ME		RE		GE	ZE	DE	BE	PE
お	こ	そ	と	の	ほ	も		ろ		ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ
O	KO	SO	TO	NO	HO	MO		RO		GO	ZO	DO	BO	PO

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前にキーボードの【L】か【X】を押す。
　例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に【Y】を押す。
　例：きゃ→KYA、きゅ→KYU（しゃ、しゅ、しょは、間に【H】を押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。
　例：きっかけ→KIKKAKE

入力する文字を切り換える

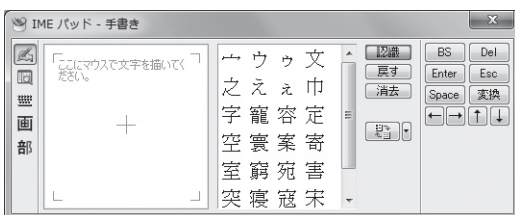
【半角/全角】を押す。
日本語を入力できる状態と半角英数字を入力できる状態が切り換わります。

状態はここで確認できます。

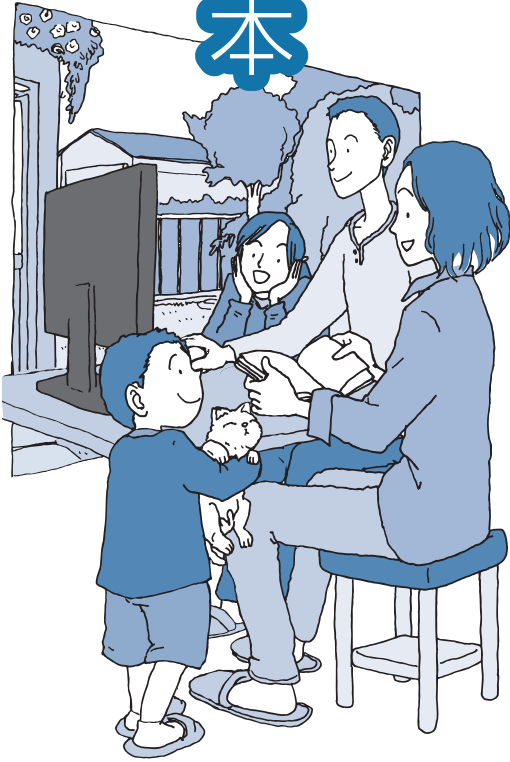
日本語入力　　　　半角英数字入力

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

読み方のわからない文字を入力する

言語バーの をクリックし、表示された画面で手書き入力をする。

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

準備と基本

VALUESTAR

初版 **2010年9月**
NEC
853-811064-038-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。